

# 平成27年度 三浦市民アンケート調査

## 調査結果報告書

平成27年10月

三浦市

## 目 次

I. 調査概要.....	2
II. 回答者の属性.....	3
III. 集計分析結果.....	8
1. あなたのお住いの周辺環境と今後の定住について.....	8
2. 「仕事」について.....	22
3. 「Uターン」や「Iターン」について.....	26
4. 三浦市の行政サービスや必要な施策について.....	32
5. 「出産、子育て」について.....	37
6. 「結婚」について.....	42

## I. 調査概要

### ◆目的:

◆調査対象:住民基本台帳に記載のある者のうち16歳以上の男女無作為抽出2,000人

◆調査方法:郵送によるアンケート形式

◆調査期間:平成27年7月8日～7月22日

◆回収数 :757件(回収率37.9%)

### ◆集計結果の見方

- ① 図(グラフ)の中で使用されているアルファベット n は、その設問に対する回答者数をあらわす。
- ② 回答の比率(すべて百分率(%))で表示)は、その設問の回答者数を基数(件数)として算出している。したがって、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると100%を超える場合がある。また、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合がある。

### ※概要数値の見方

数値はそれぞれ割合(%)を表示。基数の記述があるもの以外は有効回収数を基本としている(n=757)。

### ※クロス集計表の見方

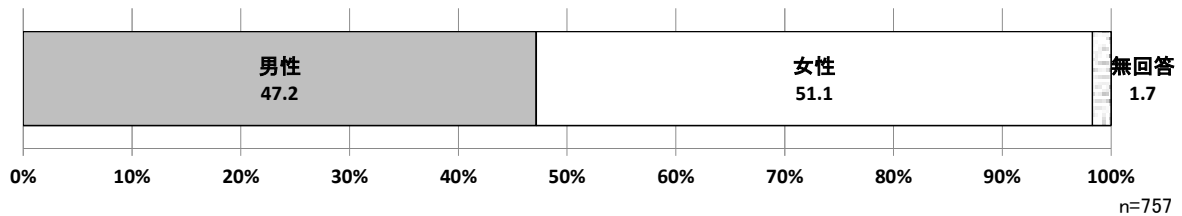
濃いグレーの塗りつぶし:選択肢の中で、第1位の項目については濃いグレーで塗りつぶし、白抜き文字にしている。

薄いグレーの塗りつぶし:属性別にみて、全属性の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目については、薄いグレーで塗りつぶして特記している。

## II. 回答者の属性

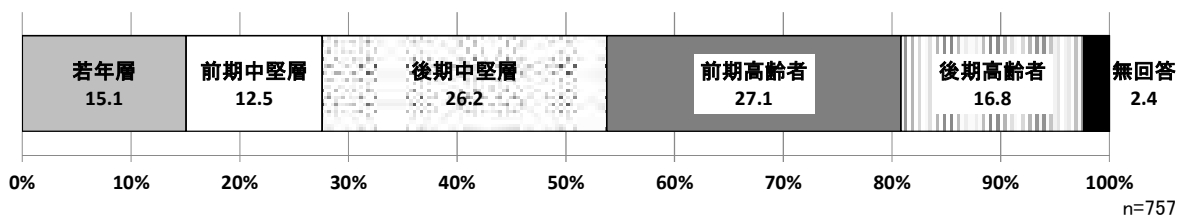
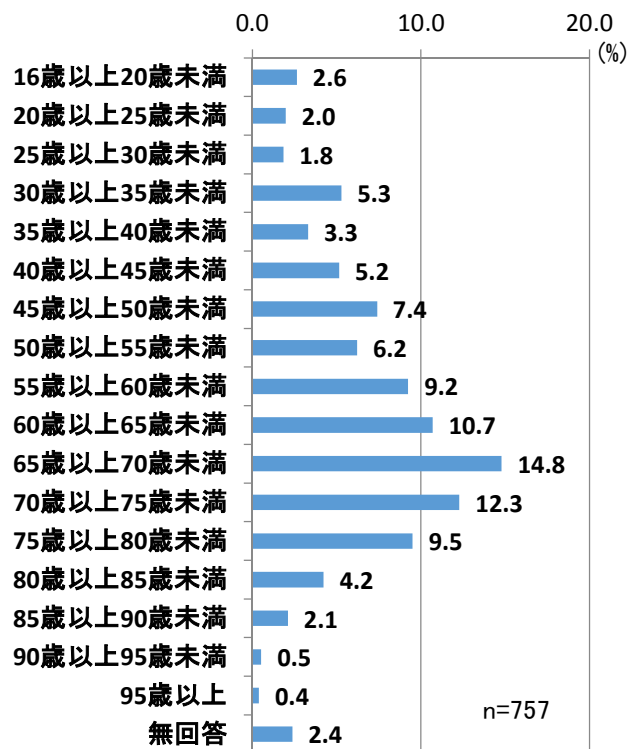
### 問1 性別をお答えください。(○は1つ)

- ・女性 51.1%、男性 47.2%で、女性が 3.9 ポイント多い。



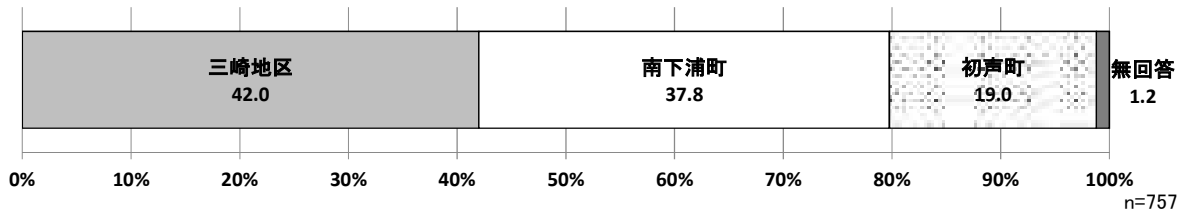
### 問2 年齢をお答えください。

- ・ 5歳階級別にみると、「65歳以上70歳未満」が最も多く 14.8%となっている。
- ・ 年齢層別にみると、「前期高齢者（65～74歳）」が 27.1%で最も多く、次いで「後期中堅層（50～64歳）」が 26.2%となっている。以下「後期高齢者（75歳以上）」（16.8%）、「若年層（16～39歳）」（15.1%）、「前期中堅層（40～49歳）」（12.5%）と続く。



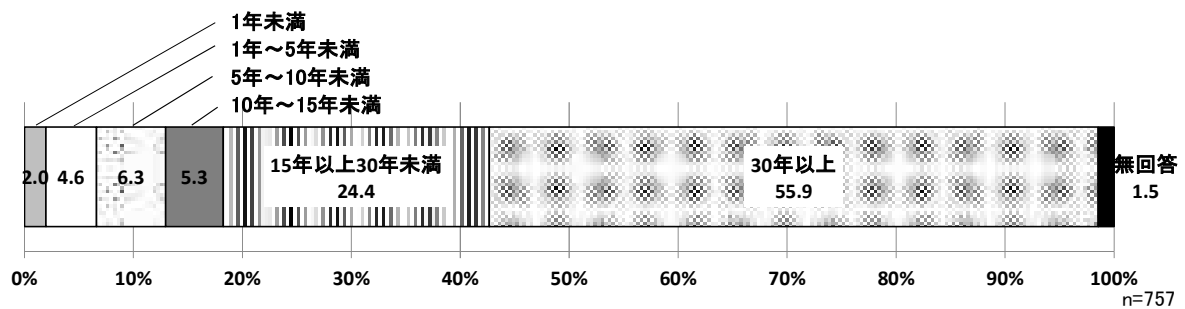
**問3 現在お住まいの地域はどちらですか。(〇は1つ)**

- ・「三崎地区」が最も多く 42.0%で、次いで「南下浦町」(37.8%)、「初声町」(19.0%)と続く。



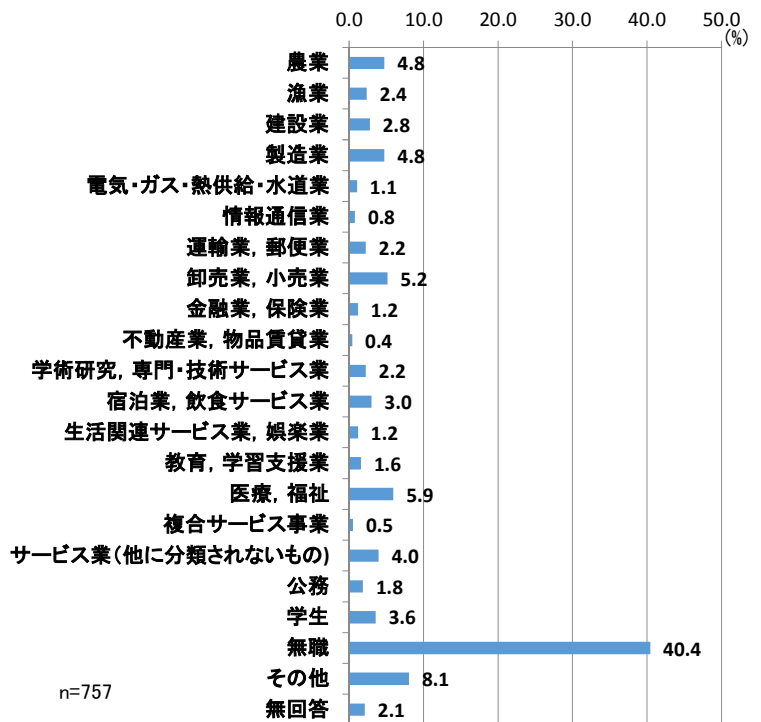
**問4 三浦市には通算何年お住まいですか。(〇は1つ)**

- ・「30年以上」が最も多く 55.9%で、全体の半数以上を占める。次いで「15年以上 30年未満」が 24.4%で、これらを合わせると全体の約8割が居住年数15年以上となっている。



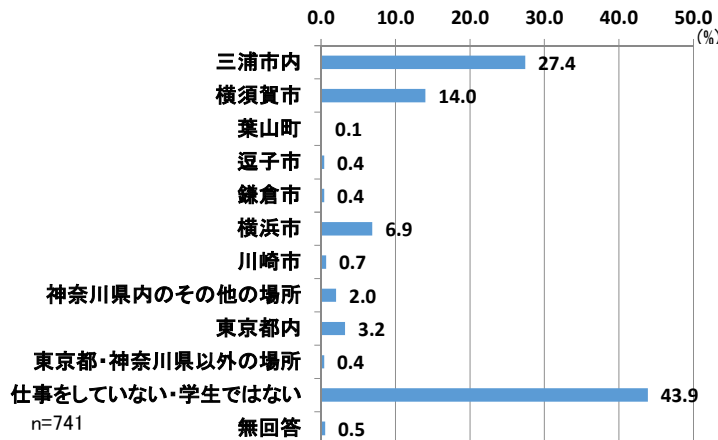
**問5 あなたの主な職業をお答えください。(〇は1つ)**

- ・「無職」が 40.4%で突出して多い。以下「医療、福祉」(5.9%)、「卸売業、小売業」(5.2%)、「農業」「製造業」(ともに 4.8%)などと続く。「その他」は 8.1%である。



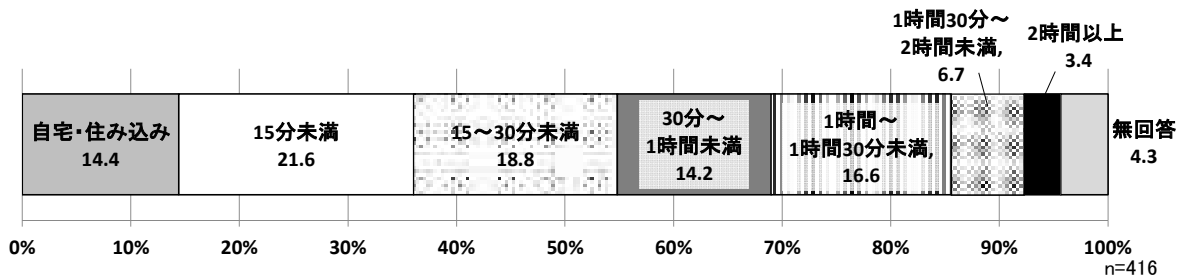
**問6 あなたの仕事・学校の場所(通勤先・通学先)は次のうちどれですか。(〇は1つ)**

- ・「仕事をしていない・学生ではない」が43.9%で最も多く、全体の4割以上を占める。次いで「三浦市内」が27.4%で全体の4分の1強である。以下、「横須賀市」(14.0%)、「横浜市」(6.9%)、「東京都内」(3.2%)などと続く。



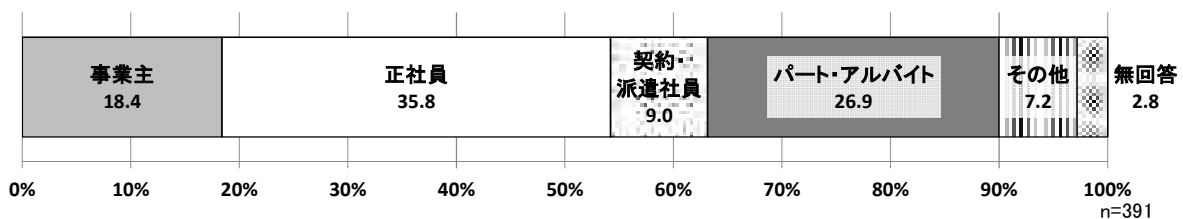
**問7 あなたの通勤・通学時間はどのくらいですか。(〇は1つ)**

- ・「15分未満」が21.6%で最も多く、次いで「15～30分未満」が18.8%、「1時間～1時間30分未満」が16.6%となっている。以下「自宅・住み込み」(14.4%)、「30分～1時間未満」(14.2%)、「1時間30分～2時間未満」(6.7%)、「2時間以上」(3.4%)と続く。
- ・「自宅・住み込み」「15分未満」「15～30分未満」を合わせると54.8%で、全体の過半数が30分未満の通勤・通学時間となっている一方、通勤・通学に1時間以上かかっている人も全体の4分の1程度存在する。



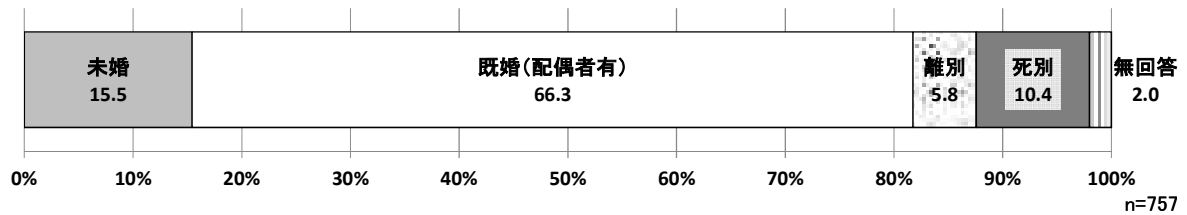
**問8 仕事をされている方はどのような立場で仕事をされていますか。(〇は1つ)**

- ・「正社員」が35.8%で最も多い。次いで「パート・アルバイト」が26.9%である。以下「事業主」(18.4%)、「契約・派遣社員」(9.0%)、「その他」(7.2%)と続く。



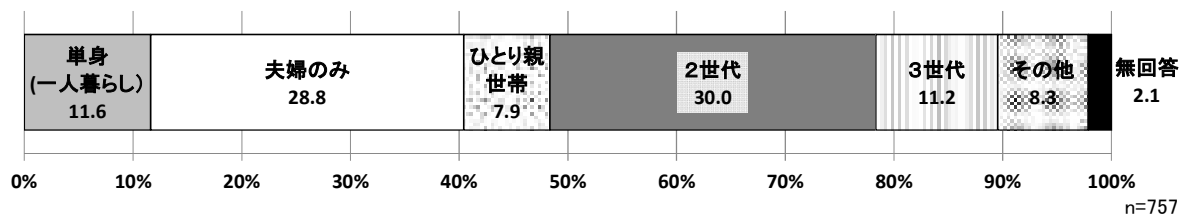
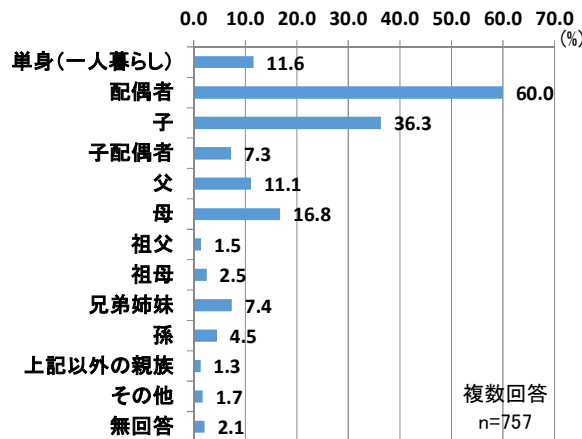
**問9 あなたは結婚されていますか。(〇は1つ)**

- ・「既婚（配偶者有）」が66.3%で最も多い。次いで「未婚」（15.5%）、「死別」（10.4%）、「離別」（5.8%）と続く。



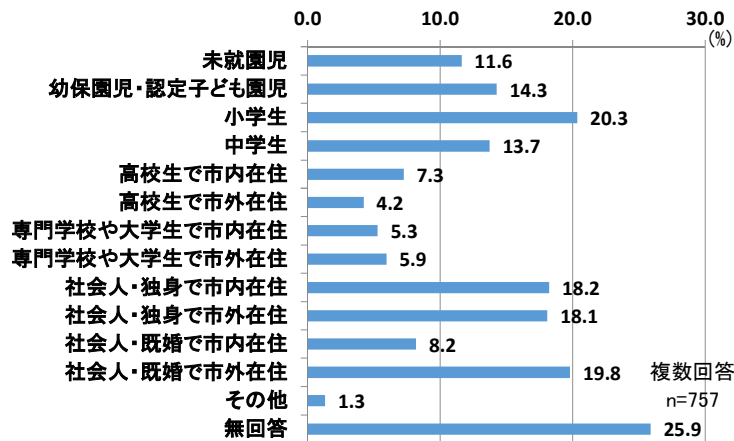
**問10 あなたからみた、同居の家族をお答えください。(〇はいくつでも)**

- ・「配偶者」が最も多く 60.0%で、全体の6割を占める。次いで「子」が36.3%である。以下、「母」（16.8%）、「単身（一人暮らし）」（11.6%）、「父」（11.1%）などと続く。
- ・回答を世帯の類型別に分類してみると、「2世代」が30.0%で全体の3割となっている。次いで「夫婦のみ」が28.8%で3割弱である。以下「単身（一人暮らし）」（11.6%）、「3世代」（11.2%）、「その他」（8.3%）、「ひとり親世帯」（7.9%）と続く。



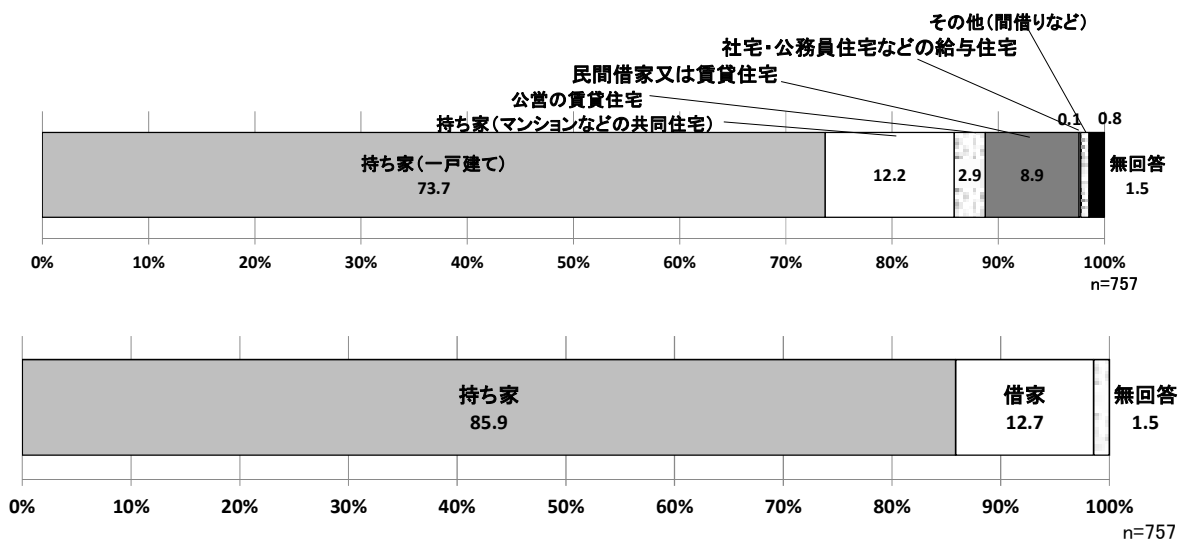
**問11 子どもや孫がいる方はお答えください。子どもや孫は次のどれにあたりますか。別居している方も含め全員について、お答えください。(○はいくつでも)**

- ・「小学生」が最も多く、20.3%の人が挙げている。僅差で「社会人・既婚で市外在住」の19.8%が続く。以下「社会人・独身で市内在住」(18.2%)、「社会人・独身で市外在住」(18.1%)、「幼保園児・認定子ども園児」(14.3%)、「中学生」(13.7%)、「未就園児」(11.6%)などとなっている。



**問12 あなたのお住まいは次のうちどれにあたりますか。(○は1つ)**

- ・「持ち家（一戸建て）」が73.7%で突出して多く、全体の4分の3近くを占めている。次いで「持ち家（マンションなどの共同住宅）」が12.2%となっており、これらを合わせると持ち家率は85.9%に達する。以下「民間借家又は賃貸住宅」(8.9%)、「公営の賃貸住宅」(2.9%)、「その他（間借りなど）」(0.8%)、「社宅・公務員住宅などの給与住宅」(0.1%)と続く。



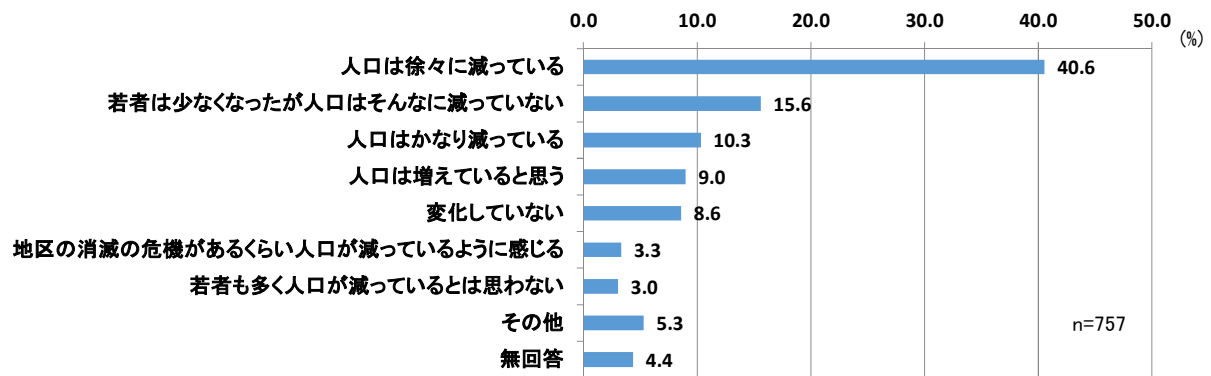


### Ⅲ. 集計分析結果

#### 1. あなたのお住いの周辺環境と今後の定住について

問13 あなたのお住いの地区の人口減少の度合いについて、10年前と比べてどのように感じていますか。(〇は1つ)

- ・「人口は徐々に減っている」が突出して多く 40.6%で、約4割を占めている。次いで「若者は少なくなったが人口はそんなに減っていない」が 15.6%である。以下「人口はかなり減っている」(10.3%)、「人口は増えていると思う」(9.0%)、「変化していない」(8.6%)、「地区の消滅の危機があるくらい人口が減っているように感じる」(3.3%)、「若者も多く人口が減っているとは思わない」(3.0%)となっている。「人口は徐々に減っている」「人口はかなり減っている」「地区の消滅の危機があるくらい人口が減っているように感じる」を合わせると 54.2%と、半数強の人が人口減少を感じている。
- ・「その他」として 56 件の具体的な記述があり、最も多かったのは「居住年数が浅いためわからない」との意見で 18 件であった。また「若者、子供が減少している」という指摘は 11 件見られた。



#### 「その他」意見内容

意見内容	件数
居住年数が浅いためわからない	18
若者、子供が減少している	11
わからない	10
高齢者は増加している	5
関心がない	4
独居者が増えている	2
空き家が増えている	1
減少している	1
子供が増えて若者が減っている	1
増えている	1
転出している	1
変化していない	1
総計	56

■ 年齢層別 10年前と比較した地区の人口減少の度合い（問13×問2）

・いずれの年齢層でも「人口は徐々に減っている」が最も多くなっている。

図 年齢層別 10年前と比較した地区の人口減少の度合い

		合計	問13 10年前と比較した地区の人口減少の度合い								
			う人口は増えていると思	て若者も多くなっていると思わ	い人口はそんなに減っていない	若者は少なくなつたが	る人口は徐々に減つてい	る人口はかなり減つてい	いるように感じる	地区の消滅の危機があ	変化していない
問2 年齢（統合）	全体	757	9.0	3.0	15.6	40.6	10.3	3.3	8.6	5.3	4.4
	若年層	114	2.6	2.6	18.4	28.9	10.5	5.3	11.4	14.0	6.1
	前期中堅層	95	13.7	4.2	11.6	42.1	11.6	1.1	9.5	6.3	0.0
	後期中堅層	198	10.1	3.0	16.2	46.0	7.1	2.0	8.6	5.1	2.0
	前期高齢者	205	11.2	4.4	13.2	43.4	9.8	4.9	7.8	1.5	3.9
	後期高齢者	127	7.1	0.8	20.5	38.6	15.0	2.4	6.3	3.9	5.5

■ 居住地域別 10年前と比較した地区の人口減少の度合い（問13×問3）

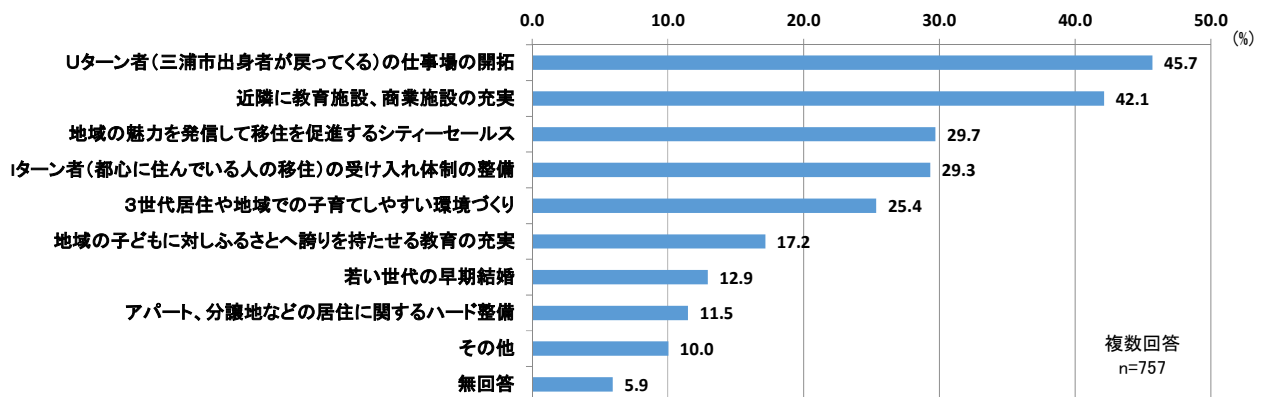
・三崎地区と南下浦町では「人口は徐々に減っている」、初声町では「人口は増えていると思う」が最も多くなっている。

図 居住地域別 10年前と比較した地区の人口減少の度合い

		合計	問13 10年前と比較した地区の人口減少の度合い								
			う人口は増えていると思	て若者も多くなっていると思わ	い人口はそんなに減っていない	若者は少なくなつたが	る人口は徐々に減つてい	る人口はかなり減つてい	いるように感じる	地区の消滅の危機があ	変化していない
問3 居住地域（統合）	全体	757	9.0	3.0	15.6	40.6	10.3	3.3	8.6	5.3	4.4
	三崎地区	318	5.0	1.9	12.9	46.9	14.8	4.4	7.2	4.4	2.5
	南下浦町	286	7.0	3.8	16.4	44.1	9.4	2.8	7.3	5.2	3.8
	初声町	144	22.2	4.2	20.8	21.5	2.8	2.1	13.9	7.6	4.9

**問14 あなたの地区で人口を増やすために必要な取組は何だとおもいますか。(〇はいくつでも)**

- ・「Uターン者（三浦市出身者が戻ってくる）の仕事場の開拓」が最も多く 45.7%、次いで「近隣に教育施設、商業施設の充実」が 42.1%で、ともに4割以上を占める。以下「地域の魅力を発信して移住を促進するシティーセールス」（29.7%）、「Iターン者（都心に住んでいる人の移住）の受け入れ体制の整備」（29.3%）、「3世代居住や地域での子育てしやすい環境づくり」（25.4%）と続き、これらは2割以上の人々が挙げている。
- ・「その他」として 83 件の具体的な記述があり、計 108 件の意見が挙げられた。最も多かったのは「交通手段の整備」の 12 件、次いで「雇用の確保」が 9 件などとなっている。



**「その他」意見内容**

記述内容	件数
交通手段の整備	12
雇用の確保	9
バスの利用改善	6
子育て支援の充実	6
教育施設の充実	5
減税	5
住宅施策の充実(空家活用、シェアハウス等)	5
商業の振興	5
医療の充実	4
観光施設の充実	4
公園の整備・充実	3
行政サービスの充実	3
市財政の健全化	3
大企業の誘致	3
農業・漁業以外の産業の振興	3
農業・漁業関連産業の活性化	3
医療費補助の拡大	2
駅周辺の整備・活性化	2
上下水道の整備	2
その他の意見(各1件)	17
イベントの開催、ゴミ出しの簡略化、映画の誘致、給与の引き上げ、行政職員を市内に居住させる、高齢者福祉施設の充実、高齢者福祉施設を増やさない、婚活、障害者福祉の充実、地域政策の見直し、地区役員の負担軽減、道路の整備、補助の充実、防災対策、遊休地の活用、老人ばかりで不安	
わからない	3
特になし	2
興味がない	1
総計	108

■ 年齢層別 人口を増やすために必要な取組（問14×問2）

- ・若年層と前期中堅層では「近隣に教育施設、商業施設の充実」、後期中堅層・前期高齢者・後期高齢者では「Uターン者（三浦市出身者が戻ってくる）の仕事場の開拓」が最も多く、若い世代と年齢の高い世代とで傾向が分かれた。また、前期中堅層では「アパート、分譲地などの居住に関するハード整備」「Iターン者（都心に住んでいる人の移住）の受け入れ体制の整備」の数値が、全体値より10ポイント以上高くなっている。

図 年齢層別 人口を増やすために必要な取組

		問14 地区で人口を増やすために必要な取組														
		合計	若い世代の早期結婚	子育てしやすい環境づくり	三世帯居住や地域づくり	アパート、分譲地などのハード整備	近隣に教育施設、商業施設の充実	場が開拓	Uターン者（三浦市出身者が戻ってくる）の仕事場	入れている人の移住（都心に住んで）の受け入れ体制の整備	Iターン者（都心に住んで）の受け入れ体制の整備	さとへの誇りを持たせる教育の充実	地域の子どもに対する関心	住を促進するシテイー移	地域の魅力を発信して移	その他
	全体	757	12.9	25.4	11.5	42.1	45.7	29.3	17.2	29.7	10.0	5.9				
問2 年齢（統合）	若年層	114	14.0	33.3	14.9	52.6	50.9	35.1	20.2	35.1	9.6	2.6				
	前期中堅層	95	7.4	27.4	22.1	56.8	43.2	41.1	21.1	26.3	13.7	0.0				
	後期中堅層	198	12.6	28.3	12.1	41.9	48.5	34.3	11.6	29.8	12.6	2.0				
	前期高齢者	205	16.6	23.9	8.8	42.4	45.9	26.3	16.6	29.8	6.8	5.4				
	後期高齢者	127	11.0	17.3	5.5	24.4	41.7	14.2	22.8	29.9	9.4	15.0				

■ 居住地区別 人口を増やすために必要な取組（問14×問3）

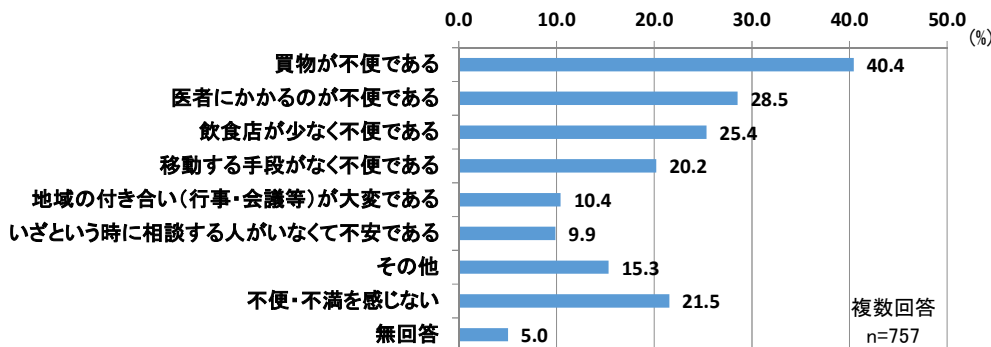
- ・三崎地区では「Uターン者（三浦市出身者が戻ってくる）の仕事場の開拓」、南下浦町と初声町では「近隣に教育施設、商業施設の充実」が最も多くなっている。

図 居住地区別 人口を増やすために必要な取組

		問14 地区で人口を増やすために必要な取組														
		合計	若い世代の早期結婚	子育てしやすい環境づくり	三世帯居住や地域づくり	アパート、分譲地などのハード整備	近隣に教育施設、商業施設の充実	場が開拓	Uターン者（三浦市出身者が戻ってくる）の仕事場	入れている人の移住（都心に住んで）の受け入れ体制の整備	Iターン者（都心に住んで）の受け入れ体制の整備	さとへの誇りを持たせる教育の充実	地域の子どもに対する関心	住を促進するシテイー移	地域の魅力を発信して移	その他
	全体	757	12.9	25.4	11.5	42.1	45.7	29.3	17.2	29.7	10.0	5.9				
問3 居住地域（統合）	三崎地区	318	12.9	24.5	11.9	36.8	53.1	28.6	18.2	26.7	10.7	6.6				
	南下浦町	286	12.2	26.2	10.5	41.3	39.5	30.1	16.8	35.7	10.1	5.2				
	初声町	144	15.3	26.4	13.2	56.9	42.4	29.2	16.7	26.4	9.0	2.1				

**問15 あなたは生活する上で不便・不満を感じることはありますか。(〇はいくつでも)**

- ・「買物が不便である」が最も多く 40.4%で、4割強を占める。次いで「医者にかかるのが不便である」(28.5%)、「飲食店が少なく不便である」(25.4%)を3割近くが占める一方で「不便・不満を感じない」も21.5%と、2割以上になっている。
- ・「その他」として121件の具体的な記述があり、計131件の意見が出された。多種多様な意見が出された中、最も多かったのは「交通の便が悪い」の29件で、以下「商業が衰退している」(10件)、「渋滞が多い」(9件)なども多くなっている。



**「その他」意見内容**

記述内容	件数
交通の便が悪い	29
商業が衰退している	10
渋滞が多い	9
道路が悪い	7
医療のレベルが低い	5
物価が高い	5
地域コミュニティが負担	4
文教施設が少ない	4
街灯が少ない、道が暗い	3
娯楽施設が少ない	3
子どもの遊び場がない	3
生活が苦しい	3
税金、各種料金が高い	3
プール、ジムなどが無い	2
教育の内容が充実していない	2
金融機関が不便	2
交通費が高い	2
公園が整備されていない	2
公共サービスが悪い	2
坂が多い	2
市の土地利用が不満	2
障害者福祉が充実していない	2
郵便ポストが少ない	2
その他の意見(各1件)	18
ゴミだしが大変、マンションの自治会費が高い、下水道が整備されていない、学校が遠い、学校にエアコンがない、公共施設が使いにくい、災害時の移動手段が不安、三浦市に魅力がない、市の所有林を剪定してくれない、商業サービスが悪い、大型ショッピングセンターがない、独居なので不安、農業・漁業が優遇されている、畑のほこりがひどい、不法侵入される、保証人がいなくて不安、防災情報の提供が少ない、友人がいない	
特になし	3
昔に比べればよくなっている	1
その他	1
総計	131

**■ 年齢層別 生活する上で感じる不便・不満 (問15×問2)**

- ・前期中堅層では「医者にかかるのが不便である」が最も多くなっている。それ以外の年齢層では「買物が不便である」が最も多く、特に若年層では数値が高い。また、若年層では「飲食店が少なく不便である」「移動する手段がなく不便である」の数値が、全体値より10ポイント以上高くなっている。

図 年齢層別 生活する上で感じる不便・不満

		合計	問15 生活上で不便・不満を感じる事								
			買物が不便である	飲食店が少なく不便である	医者にかかるのが不便である	移動する手段がなく不便である	いざという時に相談する人がいない	会議等）が大変である（行事・地域の付き合い）	その他	不便・不満を感じない	無回答
全体		757	40.4	25.4	28.5	20.2	9.9	10.4	15.3	21.5	5.0
問2 年齢（統合）	若年層	114	50.9	39.5	22.8	31.6	8.8	11.4	18.4	12.3	1.8
	前期中堅層	95	41.1	33.7	42.1	20.0	10.5	16.8	13.7	12.6	3.2
	後期中堅層	198	39.4	27.8	35.4	23.7	10.1	11.6	22.2	18.7	3.5
	前期高齢者	205	37.1	20.0	22.4	14.1	11.2	7.3	11.2	28.3	3.9
	後期高齢者	127	40.9	14.2	24.4	14.2	7.9	7.9	11.0	31.5	8.7

■ 居住地域別 生活する上で感じる不便・不満（問15×問3）

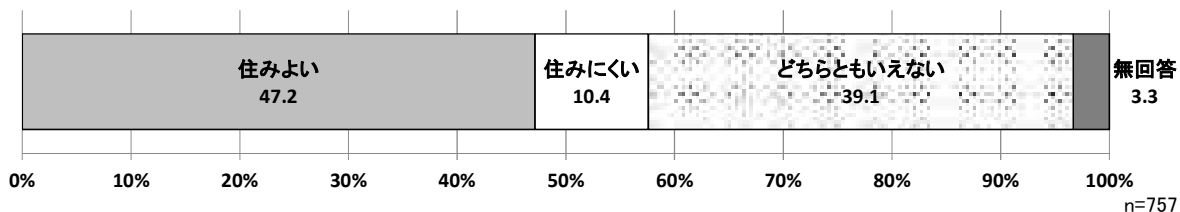
- ・いずれの地域でも「買物が不便である」が最も多く、特に初声町では数値が高い。また、初声町では「飲食店が少なく不便である」の数値も全体値より10ポイント以上高くなっている。

図 年齢層別 生活する上で感じる不便・不満

		合計	問15 生活上で不便・不満を感じる事								
			買物が不便である	飲食店が少なく不便である	医者にかかるのが不便である	移動する手段がなく不便である	いざという時に相談する人がいない	会議等）が大変である（行事・地域の付き合い）	その他	不便・不満を感じない	無回答
全体		757	40.4	25.4	28.5	20.2	9.9	10.4	15.3	21.5	5.0
問3 居住地域（統合）	三崎地区	318	34.6	18.9	30.8	23.3	10.1	7.2	16.4	23.3	5.3
	南下浦町	286	34.3	26.6	25.9	16.1	10.1	10.8	13.6	23.8	4.5
	初声町	144	67.4	37.5	29.9	21.5	9.7	16.7	16.7	14.6	1.4

**問16 あなたにとって三浦市は住みよいですか。(〇は1つ)**

- ・「住みよい」が47.2%と、全体の半数弱を占めている。次いで「どちらともいえない」が39.1%で4割弱、「住みにくい」は10.4%で1割程度である。



**■ 年齢層別 三浦市の住みよさ (問16×問2)**

- ・若年層では「どちらともいえない」、それ以外の年齢層では「住みよい」が最も多くなっている。また、「住みにくい」の数値は年齢層が高いほど低い。

**図 年齢層別 三浦市の住みよさ**

		合計	問16 三浦市の住みよさ			
			住みよい	住みにくい	どちらともいえない	無回答
問2 年齢 (総合)	全体	757	47.2	10.4	39.1	3.3
	若年層	114	38.6	15.8	43.9	1.8
	前期中堅層	95	51.6	10.5	37.9	0.0
	後期中堅層	198	45.5	12.6	40.9	1.0
	前期高齢者	205	49.8	7.8	39.5	2.9
	後期高齢者	127	54.3	6.3	31.5	7.9

**■ 居住地域別 三浦市の住みよさ (問16×問3)**

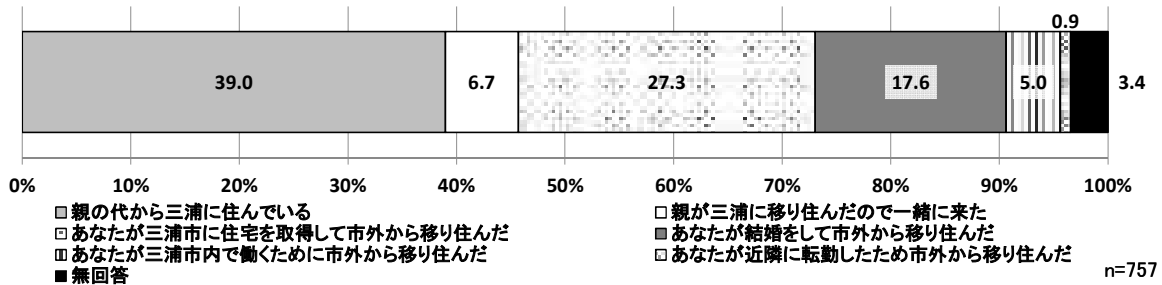
- ・三崎地区と南下浦町では「住みよい」、初声町では「どちらともいえない」が最も多くなっている。「住みにくい」の数値には地域による大きな差はみられない。

**図 居住地域別 三浦市の住みよさ**

		合計	問16 三浦市の住みよさ			
			住みよい	住みにくい	どちらともいえない	無回答
問3 居住地域 (総合)	全体	757	47.2	10.4	39.1	3.3
	三崎地区	318	44.0	10.4	41.2	4.4
	南下浦町	286	53.8	10.1	33.6	2.4
	初声町	144	41.7	11.8	45.1	1.4

**問17 あなたが三浦市に住むことになったきっかけは次のうちどれですか？(○は1つ)**

- ・「親の代から三浦に住んでいる」が39.0%で最も多く、4割弱となっている。次いで「あなたが三浦市に住宅を取得して市外から移り住んだ」が27.3%で、全体の4分の1強である。以下「あなたが結婚をして市外から移り住んだ」(17.6%)、「親が三浦に移り住んだので一緒に来た」(6.7%)、「あなたが三浦市内で働くために市外から移り住んだ」(5.0%)、「あなたが近隣に転勤したため市外から移り住んだ」(0.9%)となっている。



**■ 年齢層別 三浦市に住むことになったきっかけ (問17×問2)**

- ・前期高齢者では「あなたが三浦市に住宅を取得して市外から移り住んだ」、それ以外では「親の代から三浦に住んでいる」が最も多い。

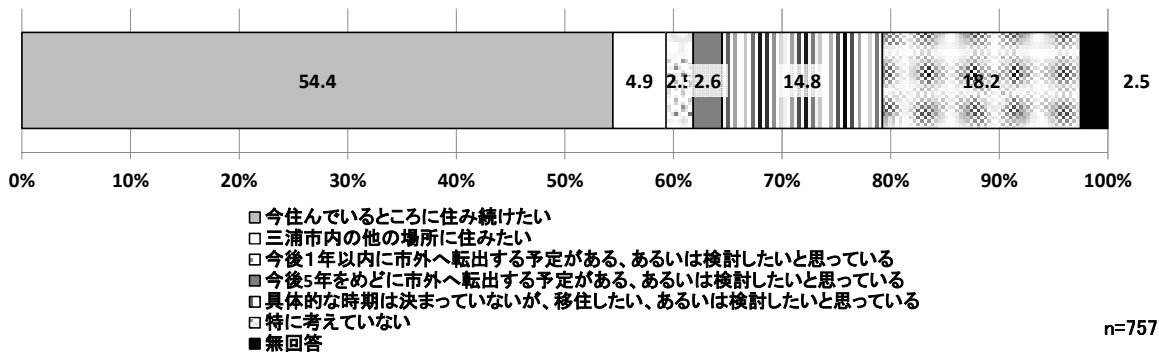
**図 年齢層別 三浦市に住むことになったきっかけ**

		合計	問17 三浦市に住むことになったきっかけ						
			親の代から三浦に住んでいる	親が三浦に移り住んだので一緒に来た	あなたが三浦市に住宅を取得して市外から移り住んだ	あなたが結婚をして市外から移り住んだ	あなたが三浦市内で働くために市外から移り住んだ	あなたが近隣に転勤したため市外から移り住んだ	無回答
全体		757	39.0	6.7	27.3	17.6	5.0	0.9	3.4
問2 年齢(統合)	若年層	114	56.1	15.8	10.5	14.0	2.6	0.9	0.0
	前期中堅層	95	38.9	12.6	20.0	15.8	7.4	3.2	2.1
	後期中堅層	198	36.4	6.1	28.8	21.2	5.1	1.0	1.5
	前期高齢者	205	35.1	1.5	36.1	18.5	4.9	0.0	3.9
	後期高齢者	127	33.9	4.7	31.5	15.7	6.3	0.0	7.9



**問18 今後、三浦市に住み続けたいですか。(〇は1つ)**

- ・「今住んでいるところに住み続けたい」が54.4%で最も多く、過半数を占めている。次に「特に考えていない」が18.2%で、2割近くを占めている。次いで「具体的な時期は決まっていないが、移住したい、あるいは検討したいと思っている」が14.8%である。以下「三浦市内の他の場所に住みたい」(4.9%)、「今後5年をめどに市外へ転出する予定がある、あるいは検討したいと思っている」(2.6%)、「今後1年以内に市外へ転出する予定がある、あるいは検討したいと思っている」(2.5%)と続く。
- ・「今住んでいるところに住み続けたい」「三浦市内の他の場所に住みたい」を合わせると59.3%で、約6割の人が三浦市への継続居住を望んでいる。



**■ 年齢層別 今後の三浦市への居住希望 (問18×問2)**

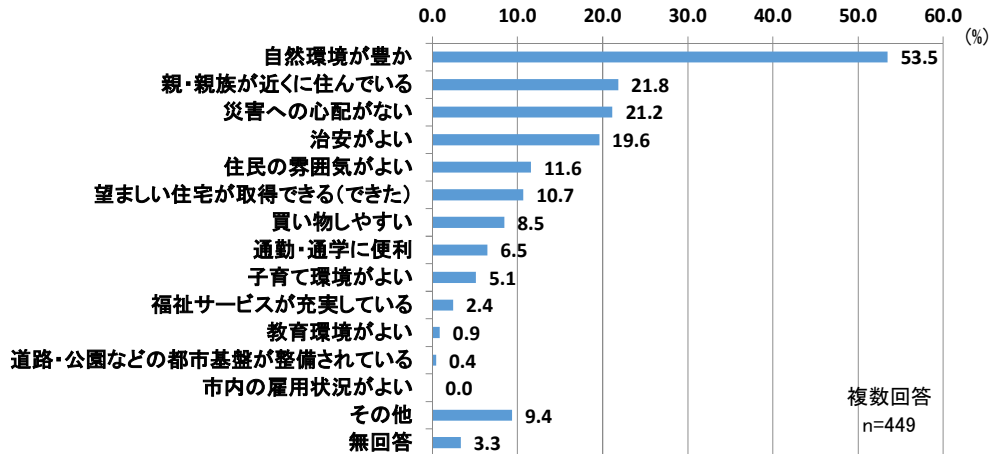
- ・いずれの年齢層でも「今住んでいるところに住み続けたい」が最も多いが、年齢が低いほど数値は低く、若年層では「具体的な時期は決まっていないが、移住したい、あるいは検討したいと思っている」が全体値を10ポイント以上上回っている。

**図 年齢層別 今後の三浦市への居住希望**

		合計	問18 今後、三浦市への居住希望						
			今住んでいるところに住み続けたい	三浦市内の他の場所に住みたい	今後1年以内に市外へ転出する予定がある、あるいは検討したいと思っている	今後5年をめどに市外へ転出する予定がある、あるいは検討したいと思っている	具体的な時期は決まっていないが、移住したい、あるいは検討したいと思っている	特に考えていない	無回答
	全体	757	54.4	4.9	2.5	2.6	14.8	18.2	2.5
問2 年齢(統 合)	若年層	114	32.5	3.5	12.3	4.4	25.4	21.1	0.9
	前期中堅層	95	46.3	9.5	0.0	5.3	23.2	15.8	0.0
	後期中堅層	198	53.5	3.5	1.5	3.0	16.7	21.2	0.5
	前期高齢者	205	62.9	5.4	1.0	1.0	8.8	18.0	2.9
	後期高齢者	127	70.1	3.1	0.0	0.8	7.1	12.6	6.3

問18-1 問18で1または2とお答えいただいた方はお答えください。三浦市に住み続けたい理由はなんで  
 ですか。(〇は2つまで)

- ・「自然環境が豊か」が最も多く 53.5%で、飛びぬけて多くなっている。次いで「親・親族が近くに  
 住んでいる」が 21.8%、「災害への心配がない」が 21.2%で、これらを2割強の人が挙げている。  
 以下、「治安がよい」(19.6%)、「住民の雰囲気がいよい」(11.6%)、「望ましい住宅が取得で  
 できる(できた)」(10.7%)と続き、住まいを取り巻く環境の良さに関する回答が多くなっている。



■ 年齢層別 三浦市に住み続けたい理由 (問18-1 × 問2)

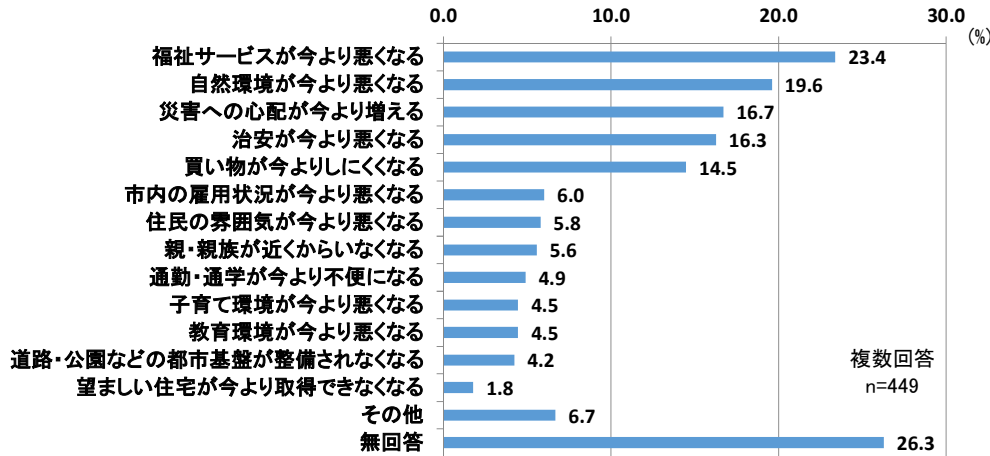
- ・いずれの年齢層でも「自然環境が豊か」が最も多い。また、前期中堅層では「通勤・通学に便利」、  
 前期高齢者では「災害への心配がない」の数値が全体値を10ポイント以上上回っている。

図 年齢層別 三浦市に住み続けたい理由

		問18-1 三浦市に住み続けたい理由															
		合計	子育て環境がよい	教育環境がよい	いる福祉サービスが充実して	治安がよい	災害への心配がない	盤が整備されている都市基	道路・公園などの都市基	自然環境が豊か	市内の雇用状況がよい	買い物しやすい	通勤・通学に便利	望ましい住宅が取得できる(できた)	住民の雰囲気がよい	いる親・親族が近くに住んで	その他
	全体	449	5.1	0.9	2.4	19.6	21.2	0.4	53.5	0.0	8.5	6.5	10.7	11.6	21.8	9.4	3.3
問2 年齢(統 合)	若年層	41	12.2	2.4	0.0	19.5	12.2	0.0	53.7	0.0	9.8	12.2	12.2	17.1	24.4	4.9	4.9
	前期中堅層	53	11.3	3.8	1.9	18.9	3.8	1.9	60.4	0.0	3.8	18.9	17.0	13.2	26.4	15.1	0.0
	後期中堅層	113	5.3	0.9	3.5	18.6	16.8	0.0	47.8	0.0	5.3	8.8	13.3	13.3	24.8	10.6	1.8
	前期高齢者	140	2.1	0.0	1.4	20.0	32.9	0.0	55.7	0.0	9.3	1.4	9.3	7.1	20.7	7.9	2.9
	後期高齢者	93	3.2	0.0	4.3	21.5	21.5	1.1	53.8	0.0	12.9	2.2	4.3	12.9	16.1	7.5	7.5

問18-2 問18で1または2とお答えいただいた方はお答えください。三浦市に住み続けたいという気持ちが変わるとしたら、その理由は何ですか。(〇は2つまで)

- ・「福祉サービスが今より悪くなる」が23.4%で最も多く、次に「自然環境が今より悪くなる」が19.6%で、これらを2割前後の人が挙げている。以下「災害への心配が今より増える」(16.7%)、「治安が今より悪くなる」(16.3%)、「買い物は今よりしにくくなる」(14.5%)などと続く。



■ 年齢層別 三浦市に住み続けたいという気持ちが変わるとしたら、その理由 (問18-2 × 問2)

- ・若年層、前期中堅層の若い層では「自然環境が今より悪くなる」、後期中堅層より年齢層が上の層では「福祉サービスが今より悪くなる」が最も多い。また、若年層では「子育て環境が今より悪くなる」「道路・公園などの都市基盤が整備されなくなる」、前期中堅層では「治安が今より悪くなる」の数値が、全体値を10ポイント以上上回っている。

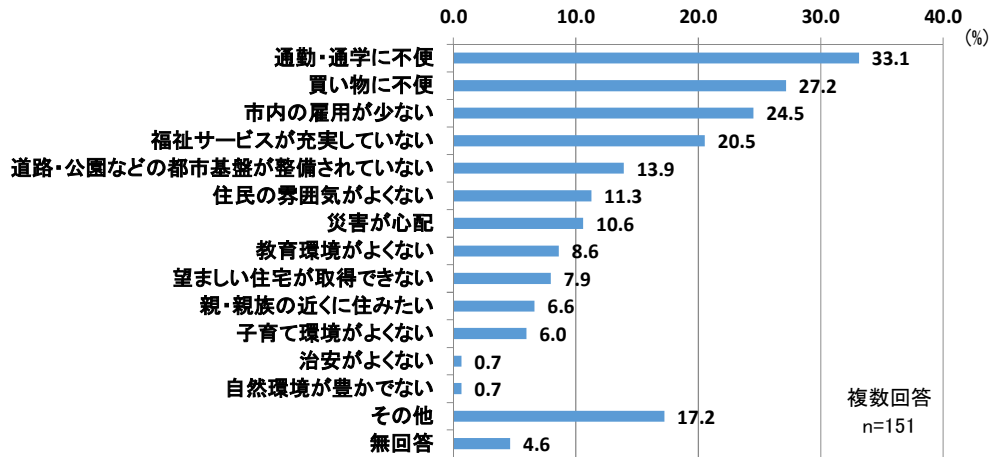
図 年齢層別 三浦市に住み続けたいという気持ちが変わるとしたら、その理由

		問18-2 三浦市に住み続けたいという気持ちが変わるとしたら、その理由															
		合計	子育て環境が今より悪くなる	教育環境が今より悪くなる	福祉サービスが今より悪くなる	治安が今より悪くなる	災害への心配が今より増える	道路・公園などの都市基盤が整備されなくなる	自然環境が今より悪くなる	市内の雇用状況が今より悪くなる	買い物は今よりしにくくなる	通勤・通学が今より不便になる	望ましい住宅が今より取得できなくなる	住民の雰囲気は今より悪くなる	親・親族が近くからいなくなる	その他	無回答
	全体	449	4.5	4.5	23.4	16.3	16.7	4.2	19.6	6.0	14.5	4.9	1.8	5.8	5.6	6.7	26.3
問2 年齢(統合)	若年層	41	19.5	12.2	17.1	24.4	22.0	14.6	26.8	9.8	14.6	14.6	0.0	14.6	9.8	7.3	7.3
	前期中堅層	53	11.3	7.5	11.3	30.2	22.6	5.7	35.8	5.7	13.2	13.2	5.7	7.5	9.4	3.8	13.2
	後期中堅層	113	3.5	4.4	27.4	20.4	19.5	0.0	23.0	7.1	12.4	4.4	2.7	6.2	4.4	5.3	22.1
	前期高齢者	140	1.4	3.6	30.7	11.4	14.3	5.7	14.3	4.3	15.7	1.4	0.7	5.0	2.1	7.9	28.6
	後期高齢者	93	0.0	1.1	18.3	8.6	10.8	2.2	12.9	5.4	15.1	2.2	1.1	2.2	8.6	7.5	41.9

問18-3 問18で3～5とお答えいただいた方はお答えください。三浦市から転出したい理由は何ですか。

(〇は2つまで)

- ・「通勤・通学に不便」が33.1%で最も多く、全体の3割以上の方が挙げている。次いで「買い物に不便」が27.2%で、利便性に関する回答が上位2位となっている。以下「市内の雇用が少ない」(24.5%)、「福祉サービスが充実していない」(20.5%)、「道路・公園などの都市基盤が整備されていない」(13.9%)、「住民の雰囲気がよくない」(11.3%)、「災害が心配」(10.6%)などとなっている。



■ 年齢層別 三浦市から転出したい理由 (問18-3 × 問2)

- ・若年層では「通勤・通学に不便」、前期中堅層では「通勤・通学に不便」「市内の雇用が少ない」、後期中堅層では「通勤・通学に不便」「買い物に不便」「福祉サービスが充実していない」、前期高齢者では「福祉サービスが充実していない」、後期高齢者では「買い物に不便」が、それぞれ最も多くなっている。

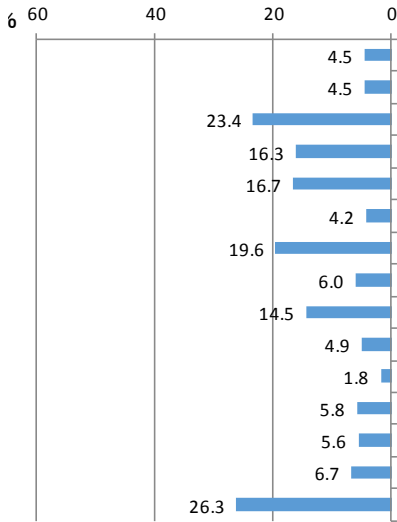
図 年齢層別 三浦市から転出したい理由

	合計	問18-3 三浦市から転出したい理由															
		子育て環境がよくない	教育環境がよくない	福祉サービスが充実していない	治安がよくない	災害が心配	道路・公園などの都市基盤が整備されていない	自然環境が豊かでない	市内の雇用が少ない	買い物に不便	通勤・通学に不便	望ましい住宅が取得できない	住民の雰囲気がよくない	親・親族の近くに住みたい	その他	無回答	
全体	151	6.0	8.6	20.5	0.7	10.6	13.9	0.7	24.5	27.2	33.1	7.9	11.3	6.6	17.2	4.6	
問2 年齢(統 合)	若年層	48	12.5	18.8	8.3	0.0	6.3	10.4	0.0	37.5	31.3	56.3	6.3	4.2	2.1	14.6	2.1
	前期中堅層	27	3.7	7.4	22.2	0.0	18.5	18.5	0.0	29.6	22.2	29.6	14.8	11.1	3.7	11.1	3.7
	後期中堅層	42	2.4	2.4	23.8	2.4	11.9	9.5	2.4	14.3	23.8	23.8	4.8	11.9	16.7	19.0	7.1
	前期高齢者	22	4.5	4.5	36.4	0.0	9.1	18.2	0.0	18.2	13.6	0.0	18.2	4.5	18.2	9.1	0.0
	後期高齢者	10	0.0	0.0	30.0	0.0	0.0	30.0	0.0	10.0	60.0	10.0	30.0	20.0	0.0	30.0	0.0

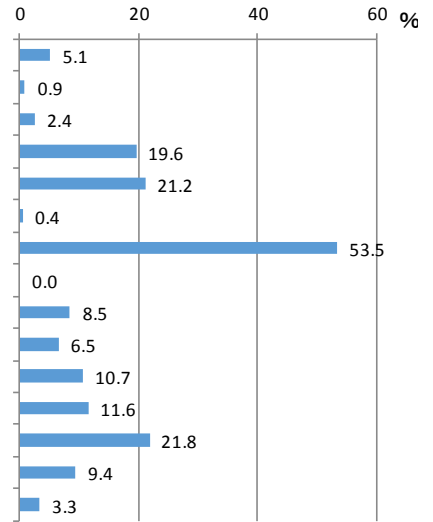


## 参考(比較)

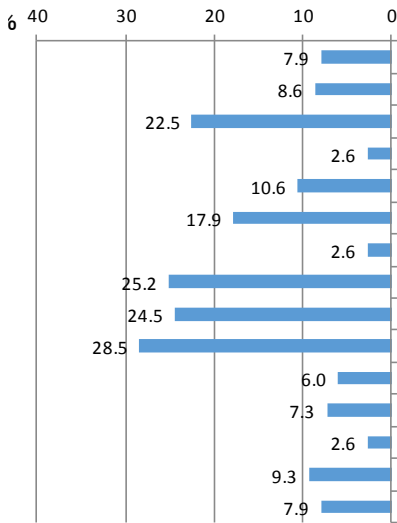
三浦市に住み続けたいという気持ちが変わる理由



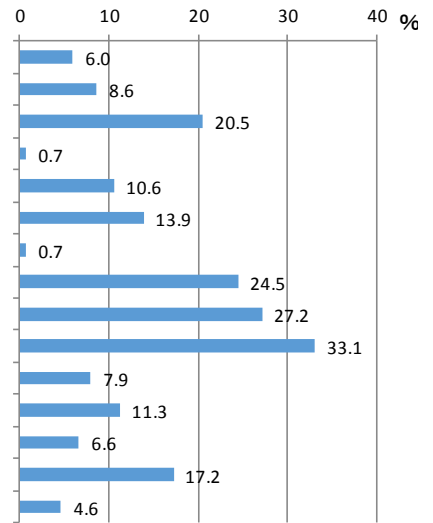
三浦市に住み続けたい理由



三浦市から転出したいという気持ちが変わる理由



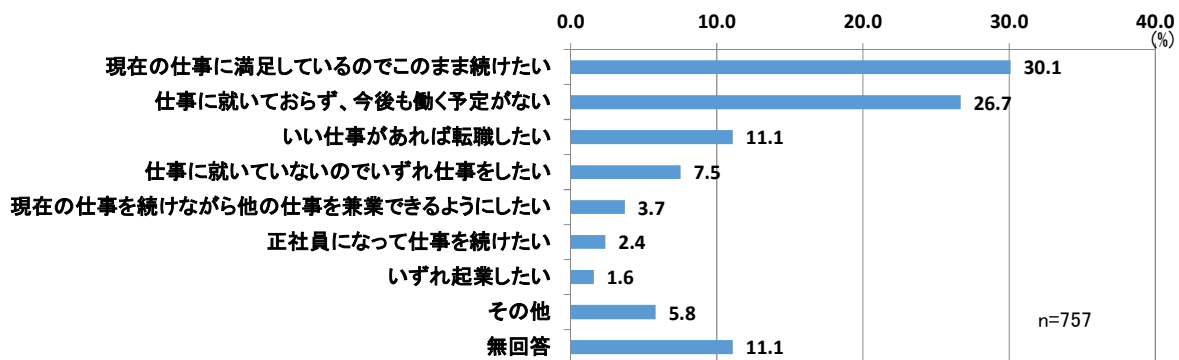
三浦市から転出したい理由



## 2. 「仕事」について

### 問19 あなたの仕事についての考え方を教えてください。(〇は1つ)

- ・「現在の仕事に満足しているのでこのまま続けたい」が最も多く 30.1%で、全体の3割となっている。次いで「仕事に就いておらず、今後も働く予定がない」が 26.7%で、全体の4分の1強である。以下「いい仕事があれば転職したい」(11.1%)、「仕事に就いていないのでいずれ仕事をしたい」(7.5%)、「その他」(5.8%)、「現在の仕事を続けながら他の仕事を兼業できるようにしたい」(3.7%)、「正社員になって仕事を続けたい」(2.4%)、「いずれ起業したい」(1.6%)と続く。
- ・「その他」として 43 件の具体的な記述があった。最も多かったのは「高齢なので働けない」の 5 件、次いで「アルバイト程度で働きたい」「チャンスがあれば働きたい」が 4 件となっている。



### 「その他」意見内容

記述内容	件数
高齢なので働けない	5
アルバイト程度で働きたい	4
チャンスがあれば働きたい	4
高齢でも働けるとよい	3
子供の成長に合わせて働きたい	3
体調が悪く働けない	3
このまま続けたい	2
そろそろ引退したい	2
起業している	2
就職予定	2
その他の意見(各1件)	11
ボランティアで活動している、学生なのでわからない、仕事しないで暮らしたい、市民税の非課税額を上げてほしい、収入が安定していない、親の介護のため退職した、生活の基盤としか考えていない、専業主婦、転居が必要なら辞める、年金受給者	
非該当	2
総計	43

■ 年齢層別 仕事についての考え方（問19×問2）

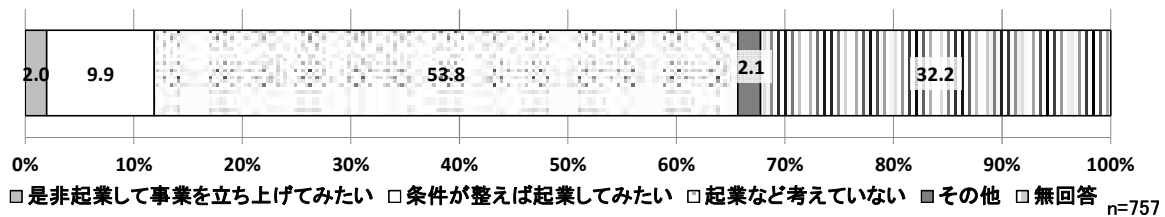
・若年層では「仕事に就いていないのでいずれ仕事をしたい」、前期中堅層と後期中堅層では「現在の仕事に満足しているのでこのまま続けたい」、前期高齢者と後期高齢者では「仕事に就いておらず、今後も働く予定がない」が、それぞれ最も多く、世代によって回答が分かれた。また、若年層・前期中堅層の若い世代では「いい仕事があれば転職したい」の数値が全体値より10ポイント以上高くなっている。

図 年齢層別 仕事についての考え方

		問19 仕事についての考え方									
		合計	い ず れ に し て い な い の で	現 在 の こ の し ま ま 満 足 し て い る	け た い に な っ て し ま す	た い に し て い な い の で	う ち に し て い な い の で	現 在 の し ま ま 満 足 し て い る	い ず れ も 働 く 予 定 が な い	後 も 働 く 予 定 が な い	そ の 他
全体		757	7.5	30.1	2.4	11.1	3.7	1.6	26.7	5.8	11.1
問2 年齢（統 合）	若年層	114	25.4	21.9	9.6	21.9	2.6	5.3	1.8	4.4	7.0
	前期中堅層	95	8.4	42.1	2.1	23.2	8.4	4.2	3.2	4.2	4.2
	後期中堅層	198	5.1	49.5	2.0	13.1	5.1	1.0	15.2	6.1	3.0
	前期高齢者	205	2.4	27.8	0.5	2.9	1.5	0.0	48.3	5.4	11.2
	後期高齢者	127	2.4	4.7	0.0	3.1	2.4	0.0	51.2	7.9	28.3

問19-1 あなた自身が事業を立ち上げる「起業」についての意識をお伺いします。(○は1つ)

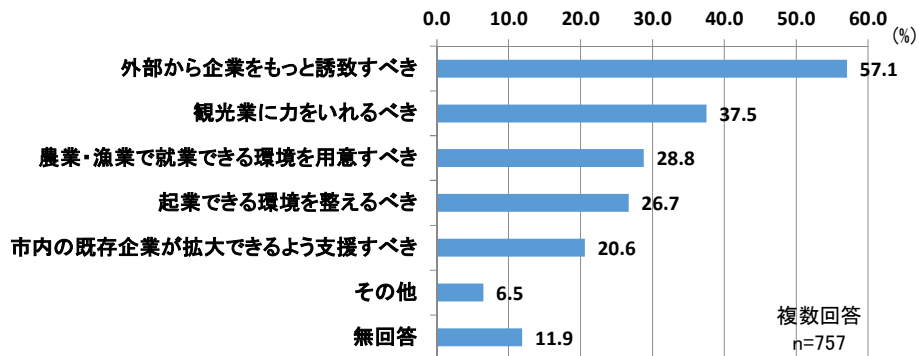
・「起業など考えていない」が53.8%で、過半数を占める。「条件が整えば起業してみたい」は9.9%、「是非起業して事業を立ち上げてみたい」は2.0%で、これらを合わせるといずれ起業してみたいと考えているのは1割強となっている。





問20 三浦市内の仕事の機会を充実させるためにどのような方策が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- ・「外部から企業をもっと誘致すべき」が最も多く 57.1%で、6割近くの人が挙げている。次いで「観光業に力をいれるべき」が 37.5%である。以下「農業・漁業で就業できる環境を用意すべき」(28.8%)、「起業できる環境を整えるべき」(26.7%)、「市内の既存企業が拡大できるよう支援すべき」(20.6%)についても、いずれも2割以上の人が選択している。
- ・「その他」として49件の記述があり、計54件の意見が挙げられた。意見内容は多岐にわたったが、最も多かったのは「農業・漁業の六次産業化」と「遊休地の活用」でともに6件、次いで「交通アクセスの改善」「商業の振興」とともに4件となっている。



「その他」意見内容

記述内容	件数
農業・漁業の六次産業化	6
遊休地の活用	6
交通アクセスの改善	4
商業の振興	4
企業誘致の優遇措置	3
三浦市の環境、地理を生かした事業の誘致	3
道の駅の整備	3
道路の整備	3
観光地の物価見直し(リピーター獲得)	2
給与水準の向上	2
コマースの強化	1
ハローワークの設置	1
観光業の拡充	1
魚市場の活性化	1
空き家対策	1
行政主導による対策	1
在宅ビジネスの提案	1
三浦市の歴史の周知	1
自然を活かした子どもの遊び場	1
過去の失敗事例の反省	1
商店のモラル向上	1
総合病院の誘致	1
定年後の帰農支援	1
独居者への支援	1
無理	2
わからない	2
総計	54

■ 年齢層別 三浦市内の仕事の機会を充実させるために必要な方策（問20×問2）

- ・いずれの世代でも「外部から企業をもっと誘致すべき」が最も多くなっている。また、若い世代ほど「観光業に力をいれるべき」の数値が高くなっている。

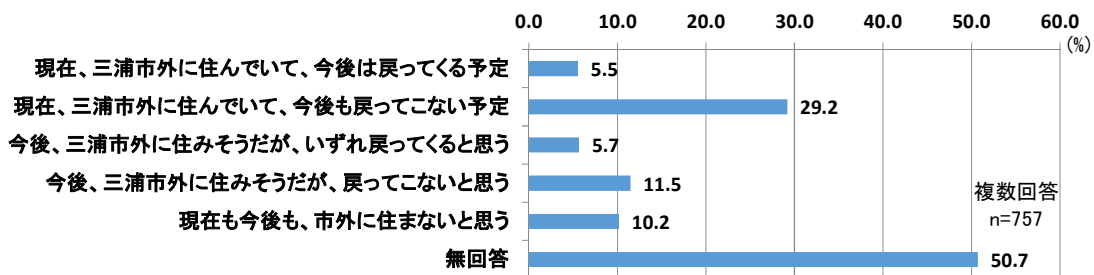
図 年齢層別 三浦市内の仕事の機会を充実させるために必要な方策

		合計	問20 三浦市内の仕事の機会を充実させるために必要な方策						
			外部から企業をもっと誘致すべき	起業できる環境を整えるべき	農業・漁業で就業できる環境を用意すべき	観光業に力をいれるべき	市内の既存企業が拡大できるように支援すべき	その他	無回答
全体		757	57.1	26.7	28.8	37.5	20.6	6.5	11.9
問2 年齢（統合）	若年層	114	62.3	22.8	28.9	47.4	28.1	7.0	4.4
	前期中堅層	95	65.3	33.7	33.7	45.3	21.1	7.4	4.2
	後期中堅層	198	60.1	27.8	28.3	41.4	23.7	8.6	5.1
	前期高齢者	205	57.1	27.3	31.2	28.8	15.1	5.4	11.2
	後期高齢者	127	45.7	24.4	21.3	31.5	18.1	3.9	32.3

### 3. 「Uターン」や「Iターン」について

問21 あなたの(おおむね40歳以下の)兄弟や子ども、孫で以下に該当する方についてお答えください。(該当するものがあればいくつでも)

- ・「現在、三浦市外に住んでいて、今後も戻ってこない予定」が最も多く 29.2%で、3割近くの人が挙げている。次いで「今後、三浦市外に住みそうだが、戻ってこないと思う」が 11.5%である。以下「現在も今後も、市外に住まないと思う」(10.2%)、「今後、三浦市外に住みそうだが、いずれ戻ってくると思う」(5.7%)、「現在、三浦市外に住んでいて、今後は戻ってくる予定」(5.5%)となっている。
- ・それぞれの予定、可能性の人数を合計すると、「現在、三浦市外に住んでいて、今後も戻ってこない予定」が 499 人と最も多く、次いで「現在も今後も、市外に住まないと思う」が 153 人、「今後、三浦市外に住みそうだが、戻ってこないと思う」が 149 人、「現在、三浦市外に住んでいて、今後は戻ってくる予定」78 人、「今後、三浦市外に住みそうだが、いずれ戻ってくると思う」66 人となっている。
- ・「今後も住み続ける 153 人」を除いて、「現在市外に住んでいる 577 人」、「今後市外に転出する 215 人」人のうち「戻ってくる 144 人」の割合(Uターン)は 18.2%である。



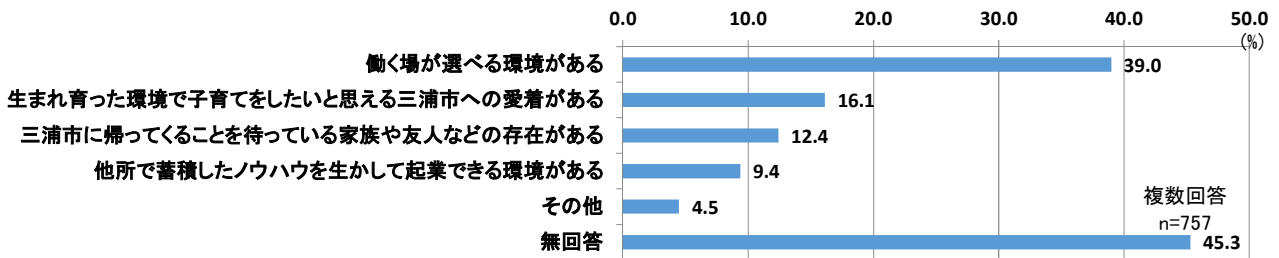
現在市外に住んでいる	577 人
今後戻ってくる予定	78 人
今後も戻ってこない	499 人
現在市内に住んでいる	368 人
今後市外に転出するがいずれ戻ってくる	66 人
今後市外に転出するが戻ってこない	149 人
今後も市内に住み続ける	153 人

Uターンの可能性 18.20%

注)5人以上の回答は5人として算出

問21-1 問21で答えていただいた市外に出ている兄弟や子ども、孫が戻ってくる(Uターン)のために必要なこととは何ですか。(〇はいくつでも)

- ・「働く場が選べる環境がある」が最も多く 39.0%で、4割近くの人が挙げており、飛びぬけて多くなっている。以下「生まれ育った環境で子育てをしたいと思える三浦市への愛着がある」(16.1%)、「三浦市に帰ってくることを待っている家族や友人などの存在がある」(12.4%)、「他所で蓄積したノウハウを生かして起業できる環境がある」(9.4%)、「その他」(4.5%)と続く。
- ・「その他」として25件の記述があり、計29件の意見が挙げられた。最も多かったのは「交通手段の充実」の7件、次いで「転出が決まっている、帰らない」が5件となっている。



「その他」意見内容

記述内容	件数
交通手段の充実	7
転出が決まっている、帰らない	5
福祉の充実	3
教育の充実	2
実家があること	2
医療体制の充実	1
減税	1
雇用の確保	1
財政破たん克服	1
商店街の活性化	1
道路状況の改善	1
配偶者が住みやすいこと	1
閉鎖性をなくす	1
わからない	1
特になし	1
総計	29

■ 年齢層別 戻ってくる(Uターン)のために必要なこと (問21-1 × 問2)

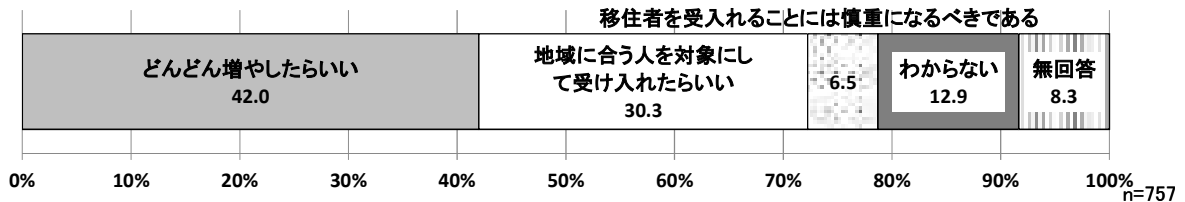
- ・いずれの世代でも「働く場が選べる環境がある」が最も多くなっている。また、「生まれ育った環境で子育てをしたいと思える三浦市への愛着がある」の数値が若年層で全体値に比べて10ポイント以上高いほか、若い世代ほど数値が高い傾向にある。

図 年齢層別 戻ってくる(Uターン)のために必要なこと

	合計	問21-1 戻ってくる(Uターン)のために必要なこと						
		働く場が選べる環境がある	他所で蓄積したノウハウ	市への愛着がある	生まれ育った環境で子育て	三浦市に帰ってくる家族や友人	その他	無回答
全体	757	39.0	9.4	16.1	12.4	4.5	45.3	
問2 年齢(統 合)	若年層	45.6	11.4	32.5	19.3	5.3	35.1	
	前期中堅層	95	32.6	10.5	20.0	16.8	5.3	47.4
	後期中堅層	198	49.0	10.1	17.7	9.6	4.5	38.9
	前期高齢者	205	38.0	10.7	9.3	11.2	5.4	44.9
	後期高齢者	127	27.6	2.4	6.3	8.7	1.6	62.2

**問22 三浦市を活性化するためには、外部からの移住者(Ｉターン)を増やすという考え方があります。あなたはこれについてどう思いますか。(○は1つ)**

- ・「どんどん増やしたらいい」が42.0%で最も多く、4割を超えている。次いで「地域に合う人を対象にして受け入れたらいい」が30.3%で、これらを合わせると7割強の人が条件次第では移住者の増加に肯定的な傾向である。以下「わからない」が12.9%、「移住者を受入れることには慎重になるべきである」は6.5%となっている。



**■ 年齢層別 三浦市を活性化するために、移住者(Ｉターン)を増やす考え方 (問22×問2)**

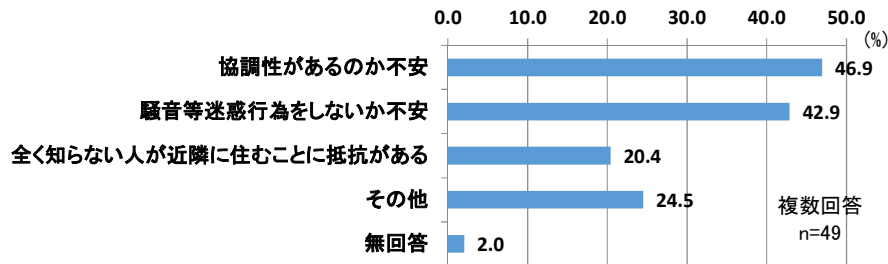
- ・いずれの世代でも「どんどん増やしたらいい」が最も多く、特に前期中堅層で高い数値となっている。

**図 年齢層別 三浦市を活性化するために、移住者(Ｉターン)を増やす考え方**

	合計	問22 三浦市を活性化するために、移住者(Ｉターン)を増やす考え方					
		どんどん増やしたらいい	地域に合う人を対象にして受け入れたらいい	は移住者を受入れることには慎重になるべきである	わからない	無回答	
全体	757	42.0	30.3	6.5	12.9	8.3	
問2 年齢(統 合)	若年層	114	46.5	28.1	11.4	10.5	3.5
	前期中堅層	95	54.7	32.6	4.2	7.4	1.1
	後期中堅層	198	46.0	29.3	9.1	10.1	5.6
	前期高齢者	205	38.0	34.1	5.4	14.1	8.3
	後期高齢者	127	29.1	28.3	2.4	21.3	18.9

問22-1 問22で3とお答えいただいた方におたずねします。移住者(Uターン)を受け入れられない理由として何があるのかお答えください。(〇はいくつでも)

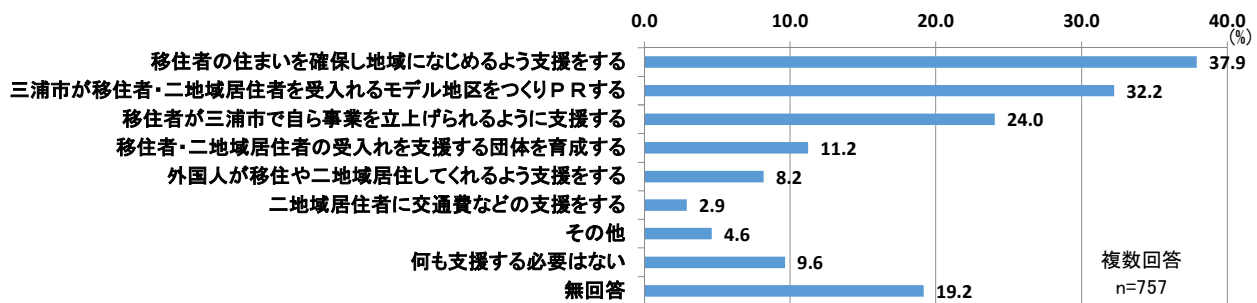
- ・「協調性があるのか不安」が46.9%、「騒音等迷惑行為をしないか不安」が42.9%で、ともに4割以上の方が挙げている。以下「その他」(24.5%)、「全く知らない人が近隣に住むことに抵抗がある」(20.4%)と続く。
- ・「その他」として17件の記述があり、計18件の意見が挙げられた。目立ったものとしては「地域の習慣に理解がない」「地元民の移住者への理解不足」「ちゃんと税負担ができるか不明」「外国人移住による治安の悪化」「税金を使って援助するのはどうか」がいずれも2件ずつとなっている。



記述内容	件数
地域の習慣に理解がない	2
地元民の移住者への理解不足	2
ちゃんと税負担ができるか不明	2
外国人移住による治安の悪化	2
税金を使って援助するのはどうか	2
先走りし易い人がいる	1
Uターンにこだわる必要はない	1
作物があらされる事が心配	1
地元民への支援がないがしろになっている	1
移住者が我が物顔をしている	1
受け継いだ土地を維持できないかもしれない	1
その他	2
総計	18

**問22-2 三浦市が移住者(Uターン)や二地域居住者(都心と三浦市の両方に住む人)を増やそうとした場合、どのような支援策があったらよいと思いますか。(〇はいくつでも)**

- ・「移住者の住まいを確保し地域になじめるよう支援をする」が37.9%、次いで「三浦市が移住者・二地域居住者を受入れるモデル地区をつくりPRする」が32.2%で、これらは3割以上の方が挙げている。以下「移住者が三浦市で自ら事業を立上げられるように支援する」(24.0%)、「移住者・二地域居住者の受入れを支援する団体を育成する」(11.2%)などと続く一方で、「何も支援する必要はない」も9.6%と、1割近くの方が挙げている。
- ・「その他」として35件の記述があり、計38件の意見が挙げられた。意見内容は多岐にわたったが、目立ったのは「税制上の優遇、減税」と「自然を活かした魅力ある都市の創生」でともに4件、次いで「移住者向けの住宅」「交通網の整備」「支援しなくてよい」がともに3件となっている。



**「その他」意見内容**

記述内容	件数
税制上の優遇、減税	4
自然を生かした魅力ある都市への創生	4
移住者向けの住宅	3
交通網の整備	3
支援しなくてよい	3
各種手当、助成金	2
雇用の確保	2
渋滞の解消	2
商業施設の建設	2
Uターンを重視すべき	1
移転仲介機関の設立	1
駅前開発	1
下水道の整備	1
企業の誘致	1
災害時の補償	1
子育て支援	1
若者の移住支援	1
生活保護受給者の減少	1
長期的な支援	1
富裕層の取り込み	1
文教施設の充実	1
歩道の整備	1
総計	38

■ 年齢層別 移住者や二地域居住者を増やすために必要な支援策（問22-2×問2）

- ・若年層と後期中堅層では「三浦市が移住者・二地域居住者を受入れるモデル地区をつくりPRする」、それ以外の世代では「移住者の住まいを確保し地域になじめるよう支援をする」が最も多くなっている。また、前期中堅層で「移住者が三浦市で自ら事業を立上げられるように支援する」の数値が全体値に比べて10ポイント以上高くなっている。

図 年齢層別 移住者や二地域居住者を増やすために必要な支援策

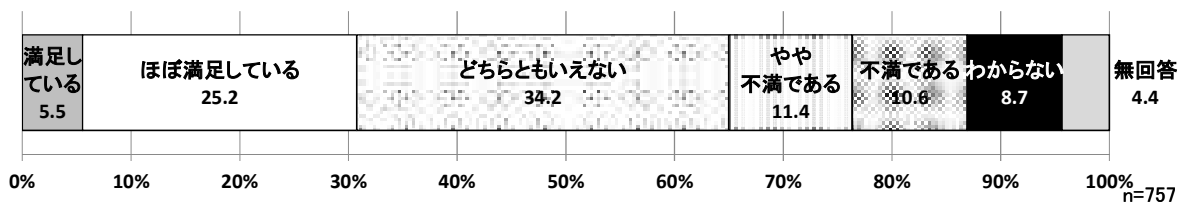
		問22-2 移住者や二地域居住者を増やすために必要な支援策														
		合計	地区居住者がつくり受入れるPRするモデル	三浦市が移住者・二地域	住してくれるよう支援を	外国人が移住や二地域を	支援する	業を立上げるよう自らに	移住者が三浦市で自ら	をす	地域になじめるよう支援し	育成する	移住者・二地域居住者の	どの地域居住者に交通費な	その他	何も支援する必要はない
全体		757	32.2	8.2	24.0	37.9	11.2	2.9	4.6	9.6	19.2					
問2 年齢（統合）	若年層	114	46.5	14.0	22.8	34.2	11.4	3.5	4.4	12.3	7.0					
	前期中堅層	95	35.8	7.4	35.8	45.3	11.6	6.3	6.3	12.6	6.3					
	後期中堅層	198	41.4	12.1	19.7	36.4	13.6	2.5	6.6	9.6	12.6					
	前期高齢者	205	25.9	3.9	26.8	40.5	12.2	2.0	4.4	8.3	22.9					
	後期高齢者	127	15.0	4.7	19.7	34.6	5.5	0.8	1.6	7.1	40.2					



#### 4. 三浦市の行政サービスや必要な施策について

##### 問23 日々の暮らしにかかわる市役所のサービスに対する満足度をお答えください。(○は1つ)

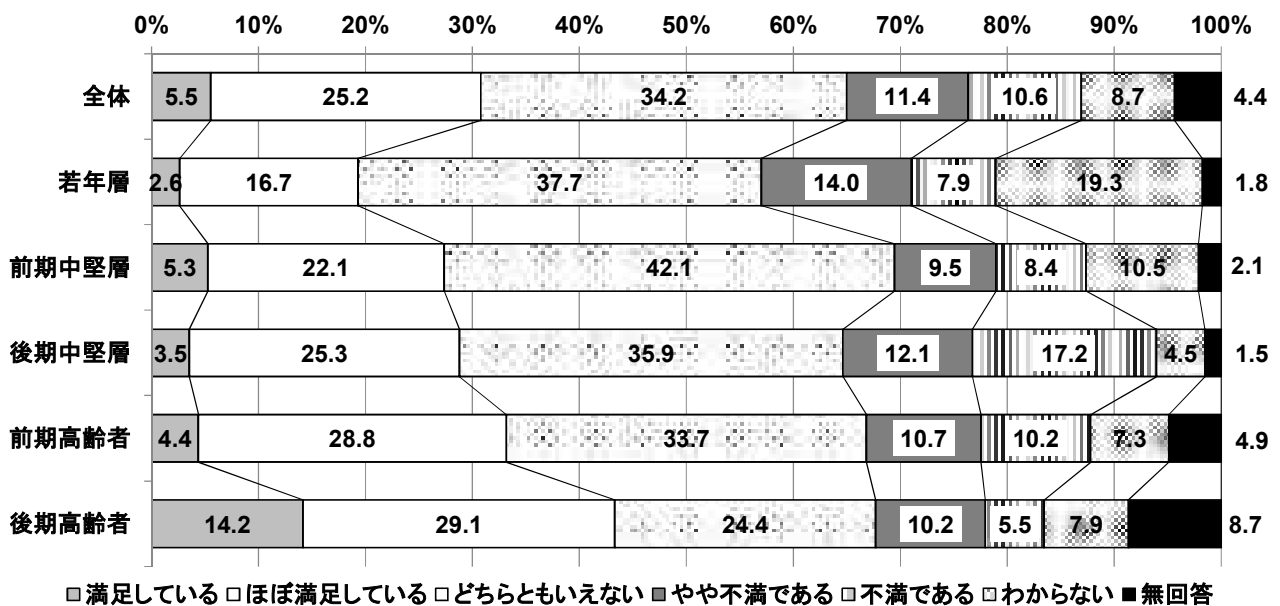
- ・「どちらともいえない」が34.2%で最も多く、全体の3分の1強となっている。次いで「ほぼ満足している」が25.2%で全体の4分の1である。以下「やや不満である」(11.4%)、「不満である」(10.6%)、「わからない」(8.7%)、「満足している」(5.5%)と続く。
- ・「満足している」「ほぼ満足している」を合わせると30.7%で、約3割の人は満足している傾向にある。「不満である」「やや不満である」を合わせると21.9%で、不満を感じているのは2割強である。



##### ■ 年齢層別 市役所のサービスに対する満足度 (問23×問2)

- ・若年層から前期高齢層までの世代では「どちらともいえない」、後期高齢者では「ほぼ満足している」が最も多くなっている。また、若年層で「わからない」の数値が全体値に比べて10ポイント以上高くなっている。なお、「満足している」「やや満足している」とも高い年齢層で数値も高い傾向にある。

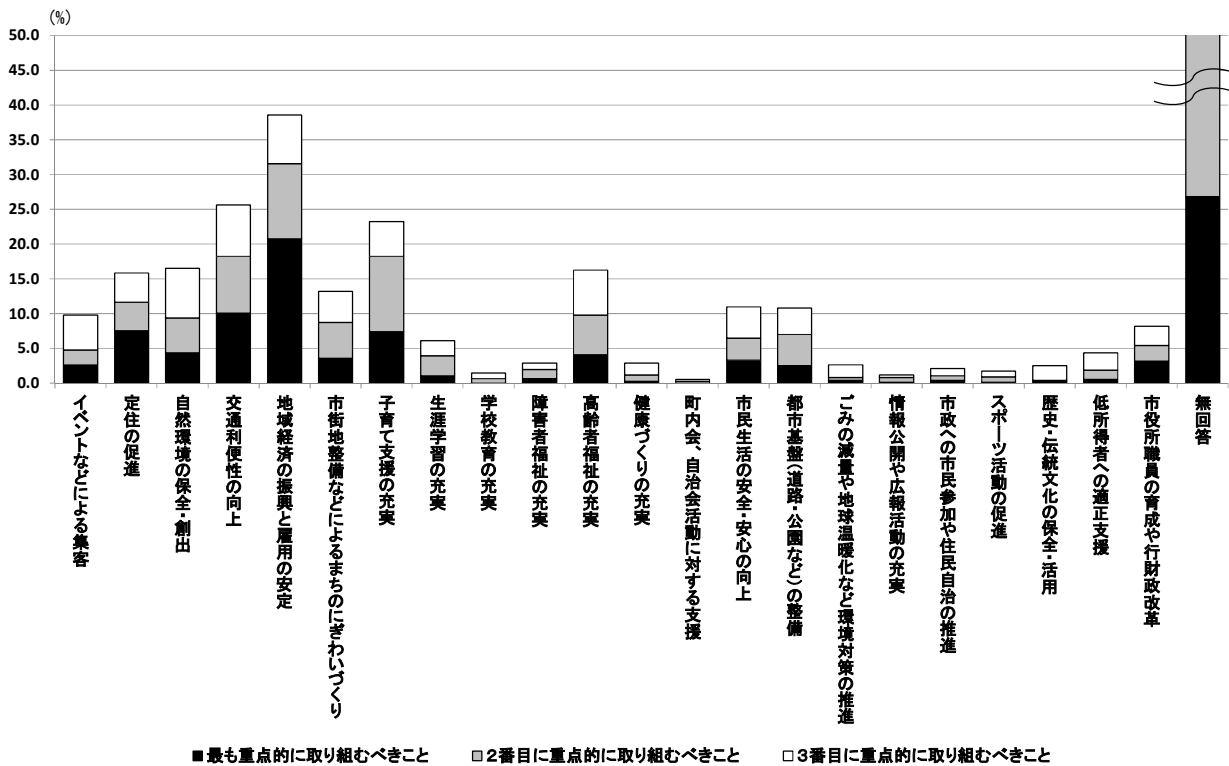
図 年齢層別 市役所のサービスに対する満足度



問24 10年後、20年後の将来、三浦市が着実に成長できる都市であるためには、財源に限りがある中で、今後どのような施策に重点的に取り組むべきだと思いますか。（重点的に取り組むべきものを3つ選び、1(=最も重点的に取り組むべきこと)～3(=3番目に重点的に取り組むべきこと)をカッコの中に記入してください)

- ・最も重点的に取り組むものとして最も多かったのは「地域経済の振興と雇用の安定」の20.7%、次いで「交通利便性の向上」(10.0%)、以下「定住の促進」(7.5%)、「子育て支援の充実」(7.4%)、「自然環境の保全・創出」(4.4%)となっている。
- ・二番目に重点的に取り組むものとして最も多かったのは「地域経済の振興と雇用の安定」「子育て支援の充実」が10.8%で同率、以下「交通利便性の向上」(8.2%)、「高齢者福祉の充実」(5.7%)、「市街地整備などによるまちのにぎわいづくり」(5.2%)となっている。
- ・三番目に重点的に取り組むものとして最も多かったのは「交通利便性の向上」が7.4%、次いで「自然環境の保全・創出」(7.1%)、以下「地域経済の振興と雇用の安定」(7.0%)、「高齢者福祉の充実」(6.5%)、「子育て支援の充実」(5.0%)となっている。

	全体	イベントなどによる集客	定住の促進	自然環境の保全・創出	交通利便性の向上	地域経済の振興と雇用の安定	市街地整備などによるまちのにぎわいづくり	子育て支援の充実	生涯学習の充実	学校教育の充実	障害者福祉の充実	高齢者福祉の充実	健康づくりの充実	町内会、自治会活動に対する支援	市民生活の安全・安心の向上	都市基盤(道路・公園など)の整備	ごみの減量や地球温暖化など環境対策の推進	情報公開や広報活動の充実	市政への市民参加や住民自治の推進	スポーツ活動の促進	歴史・伝統文化の保全・活用	低所得者への適正支援	市役所職員の育成や行財政改革	無回答
最も重点的に取り組むべき	100.0	2.6	7.5	4.4	10.0	20.7	3.6	7.4	1.1	0.0	0.7	4.1	0.3	0.0	3.3	2.5	0.4	0.1	0.4	0.1	0.3	0.5	3.2	26.8
2番目に重点的に取り組むべき	100.0	2.1	4.1	5.0	8.2	10.8	5.2	10.8	2.9	0.7	1.3	5.7	0.9	0.3	3.2	4.5	0.4	0.7	0.7	0.8	0.1	1.3	2.2	28.1
3番目に重点的に取り組むべき	100.0	5.0	4.2	7.1	7.4	7.0	4.5	5.0	2.1	0.8	0.9	6.5	1.7	0.3	4.5	3.8	1.8	0.4	1.1	0.8	2.1	2.5	2.8	27.6



■ 年齢層別 重点的に取り組むべき施策（問23×問2）

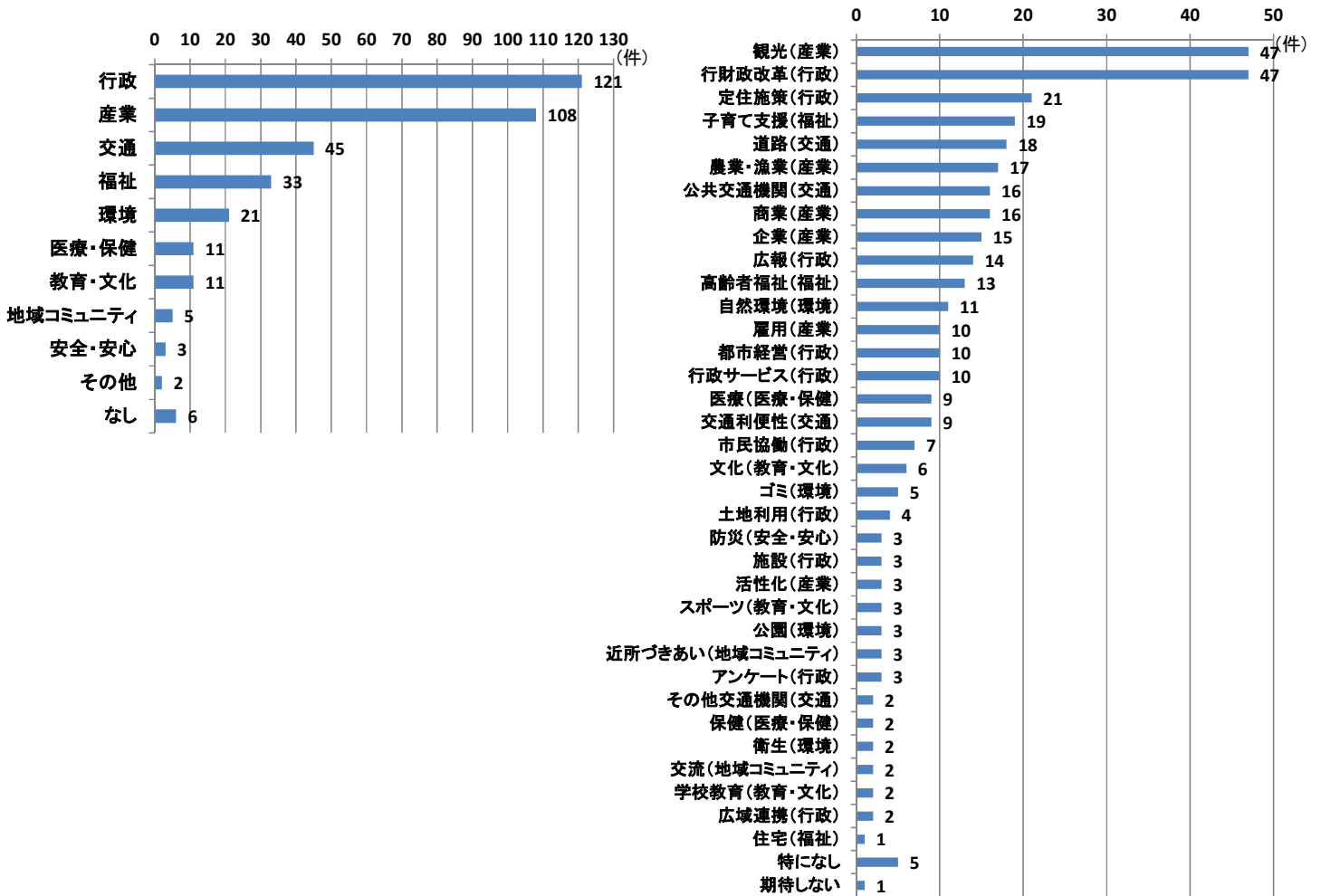
- ・最も重点的に取り組むこととしては、いずれの世代でも「地域経済の振興と雇用の安定」が最も多くなっている。
- ・2番目に重点的に取り組むべきこととしては、若年層・前期中堅層・前期高齢者で「子育て支援の充実」、後期中堅層と後期高齢者では「地域経済の振興と雇用の安定」が最も多くなっている。
- ・3番目に重点的に取り組むべきこととしては、若年層と前期高齢者で「自然環境の保全・創出」、前期中堅層で「イベントなどによる集客」、後期中堅層で「高齢者福祉の充実」、後期高齢者で「高齢者福祉の充実」「市民生活の安全・安心の向上」が、それぞれ最も多くなっている。

図 年齢層別 重点的に取り組むべき施策

		問24-1 最も重点的に取り組むべきこと																									
合計		イベントなどによる集客	定住の促進	自然環境の保全・創出	交通利便性の向上	地域経済の振興と雇用の安定	市街地整備などによるまちのにぎわいづくり	子育て支援の充実	生涯学習の充実	学校教育の充実	障害者福祉の充実	高齢者福祉の充実	健康づくりの充実	町内会、自治会活動に対する支援	上	市民生活の安全・安心の向上	都市基盤（道路・公園など）の整備	ごみの減量や地球温暖化など環境対策の推進	情報公開や広報活動の充実	治の推進	市政への市民参加や住民自治の推進	スポーツ活動の促進	歴史・伝統文化の保全・活用	低所得者への適正支援	改革	市役所職員の育成や行財政	無回答
	全体	757	2.6	7.5	4.4	10.0	20.7	3.6	7.4	1.1	0.0	0.7	4.1	0.3	0.0	3.3	2.5	0.4	0.1	0.4	0.1	0.3	0.5	3.2	26.8		
問2 年齢 (総合)	若年層	114	6.1	7.0	2.6	14.0	21.9	7.0	13.2	0.9	0.0	1.8	2.6	0.0	0.0	3.5	1.8	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	1.8	2.6	11.4		
	前期中堅層	95	4.2	8.4	9.5	12.6	18.9	6.3	12.6	2.1	0.0	2.1	2.1	0.0	0.0	0.0	2.1	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	2.1	14.7		
	後期中堅層	198	2.0	9.6	4.5	15.7	17.7	3.5	7.6	1.5	0.0	0.0	6.6	0.0	0.0	4.5	4.5	0.5	0.0	0.5	0.5	0.5	0.5	2.5	17.2		
	前期高齢者	205	1.5	6.3	3.4	5.9	25.4	2.9	3.4	1.0	0.0	0.0	4.4	1.0	0.0	3.9	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	5.4	33.7		
	後期高齢者	127	1.6	6.3	3.9	3.9	18.9	0.0	4.7	0.0	0.0	0.8	2.4	0.0	0.0	2.4	2.4	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	49.6		
	全体	757	2.1	4.1	5.0	8.2	10.8	5.2	10.8	2.9	0.7	1.3	5.7	0.9	0.3	3.2	4.5	0.4	0.7	0.7	0.8	0.1	1.3	2.2	28.1		
問2 年齢 (総合)	若年層	114	3.5	0.9	8.8	9.6	11.4	8.8	16.7	6.1	0.0	0.0	3.5	0.9	0.0	0.9	7.9	0.9	0.9	0.0	0.9	4.4	2.6	11.4			
	前期中堅層	95	3.2	8.4	7.4	8.4	9.5	6.3	12.6	5.3	0.0	1.1	5.3	1.1	0.0	0.0	6.3	0.0	1.1	2.1	2.1	1.1	1.1	2.1	15.8		
	後期中堅層	198	2.0	3.0	3.5	11.1	16.2	5.1	12.6	2.0	0.5	3.0	6.1	0.0	0.5	6.1	4.0	0.5	1.0	0.5	1.0	0.0	1.5	1.0	19.2		
	前期高齢者	205	1.5	6.3	5.9	7.8	8.8	2.9	9.3	2.0	1.0	1.5	7.8	1.5	0.0	2.9	2.4	0.0	1.0	0.5	0.5	0.0	0.5	2.9	35.6		
	後期高齢者	127	1.6	5.5	1.6	3.1	7.9	3.9	4.7	1.6	1.6	0.0	3.9	1.6	0.8	3.9	4.7	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	2.4	50.4		
	全体	757	5.0	4.2	7.1	7.4	7.0	4.5	5.0	2.1	0.8	0.9	6.5	1.7	0.3	4.5	3.8	1.8	0.4	1.1	0.8	2.1	2.5	2.8	27.6		
問2 年齢 (総合)	若年層	114	8.8	7.0	9.6	7.9	8.8	4.4	7.0	3.5	0.9	0.9	2.6	0.9	1.8	3.5	2.6	1.8	0.9	2.6	1.8	4.4	3.5	1.8	13.2		
	前期中堅層	95	13.7	4.2	5.3	9.5	8.4	5.3	0.0	2.1	1.1	6.6	1.1	0.0	5.3	5.3	3.2	0.0	0.0	1.1	3.2	0.0	2.0	2.1	13.7		
	後期中堅層	198	5.1	5.1	5.6	8.1	9.1	5.1	7.6	1.5	1.0	0.0	9.6	1.5	0.0	3.5	5.6	2.0	0.5	0.5	2.5	3.0	3.0	3.5	19.2		
	前期高齢者	205	1.5	4.4	9.8	6.3	5.4	2.9	3.4	3.4	0.0	2.4	5.9	1.5	0.0	4.4	3.9	2.0	0.5	0.5	0.5	1.0	2.9	2.9	34.6		
	後期高齢者	127	1.6	0.8	4.7	5.5	3.9	3.9	2.4	1.6	0.8	0.0	6.3	3.1	0.0	6.3	1.6	0.8	0.0	2.4	0.8	0.8	2.4	1.6	48.8		

**問25 三浦市が今後も活力あるまちであり続けるために、ご意見やご提案をご記入ください。**

- ・三浦市についての意見や提案として、248 件の具体的な記述があり、計 366 件の意見が出された。
- ・大分類別の内訳としては、「行政」121 件、「産業」108 件、「交通」45 件、「福祉」33 件、「環境」21 件、「医療・保健」11 件、「教育・文化」11 件、「地域コミュニティ」5 件、「安全・安心」3 件、「その他」2 件、「なし」6 件となっており、行政に対する意見が最も多かった。
- ・中分類を見ると、「産業」の「観光」、「行政」の「行財政改革」がともに 47 件で最も多かった。以下、同じく「行政」の「定住施策」（21 件）、「福祉」の「子育て支援」（19 件）、「交通」の「道路」（18 件）などとなっている。
- ・さらに個別に小分類の内容を見ると、最も多く出されていたのは「企業誘致」13 件（「産業-企業」）、「自然、海を活かした観光」11 件（「産業-観光」）、「若者の定住促進」10 件（「行政-定住施策」）などとなっている（次ページ表を参照）



記述内容		件数	記述内容		件数
行政		121	交通		45
行政	行財政改革	47	道路	道路整備	8
	議員・職員のモチベーション向上	6		渋滞の緩和	5
	議員数の削減	5		高速道路の延伸	3
	財政基盤の安定確保	5		歩道の整備	2
	議員の資質向上	4	公共交通機関	バス路線の整備	7
	職員数の削減	4		鉄道網の整備	6
	税金の有効活用	4		電車とバスの連携	2
	プロジェクトチームによる研究	3		バスの改善	1
	経費の削減	3	交通利便性	交通利便性の向上	9
	職員は三浦市在住とすべき	3		都心へのアクセスの改善	5
	行財政改革の実施	2	その他交通機関	車以外の移動手段の充実	2
	市外の人材の登用	2			2
	税金、水道料金等の見直し	2	福祉		33
	議員報酬の削減	1	子育て支援	子育て支援	19
	職員の資質向上	1		若者が定住できるような子育て支援策	6
	税金徴収の徹底	1		子育て支援の充実	4
	責任の所在の明確化	1		保育所の充実	3
定住施策		21		手当の拡充	2
	若者の定住促進	10		手当資格確認の厳格化	2
	定年後の定住促進	4		子どもの遊び場	1
	Iターン支援	2		小児医療費控除の見直し	1
	若者向けの施設誘致	2	高齢者福祉		13
	外国人の定住促進	1		健康・長寿施策の充実	3
	都心の人にアピールする施策	1		高齢者が定住できる福祉の充実	3
	富裕層の定住促進	1		高齢者福祉施設の建設	3
広報		14		高齢者の生活利便性向上	2
	メディア利用のプロモーション	4		介護費用の見直し	1
	PRの充実	4		手当の拡充	1
	イメージアップ戦略	3	住宅	手当の拡充	1
	魅力をアピールすべき	3	環境		21
	ゆるキャラがこわい	1	自然環境	豊かな自然環境を活かしたまちづくり	6
行政サービス		10		自然環境の保全	5
	行政サービスの充実	5	ゴミ	街の美化、清掃	2
	出張所の設置	2		ゴミ捨て場が少ない	1
	夜間・休日の窓口業務	3		ゴミ分別の見直し	1
都市経営		10		ゴミ問題の解決	1
	活力がない	3	公園	公園の整備、充実	3
	ベッドタウンと観光との両立	2	衛生	下水道の整備	2
	身の丈に合った都市経営	2		霊園開発の制限	1
	ヒト・モノ・カネのフロー	1	医療・保健		11
	活気のあるまちづくり	1	医療	病院・医療体制の充実	9
	魅力あるまちづくり	1		大学病院の誘致	8
市民協働		7		保健	1
	住民意見の反映	3		健康づくり	2
	外部人材の登用、意見の活用	2	教育・文化		11
	企業との連携	1	文化	図書館の整備	3
	市民参画の促進	1		郷土文化の継承	2
土地利用		4		文化施設・ホール等の整備	1
	埋立地の問題解決	3	スポーツ	スポーツ施設の充実	3
	市街化地域の見直し	1		スポーツの振興	2
アンケート		3	学校教育	学校教育の充実	1
	アンケート実施は有効	1	地域コミュニティ		5
	アンケート手法の見直し	1	近所づきあい	閉鎖的な人が多い	3
	実行することに意味がある	1		近所づきあいが濃くてよい	2
施設		3	交流	交流できる場所が必要	1
	公共施設の整備	2	安全・安心		2
	市役所の移転	1	防災	防災情報発信の拡充	3
広域連携		2		防災みうらは良い	2
	三浦半島全体を視野に入れた政策	2	なし		1
産業		108	特になし	特になし	6
観光		47	期待しない	期待しない	5
	自然、海を活かした観光	11	その他		1
	観光の拡充、リゾート施設充実	8	その他	その他	2
	道の駅	6	総計		366
	イベント	5			2
	新しい観光資源の発掘	4			2
	城ヶ島の観光	3			1
	さくらまつり	2			1
	娯楽施設の誘致	2			1
	トイレの整備	1			1
	駅周辺の魅力化	1			1
	観光客への感謝券の発行	1			1
	観光業従事者の資質向上	1			1
	季節を問わない観光対策	1			1
農業・漁業		17			1
	農業、漁業の復興	7			1
	農業・漁業の優遇解消	3			1
	農産物の販路充実	3			1
	若者の就労支援、農業体験	2			1
	畜産業の充実	1			1
	付加価値のある農産物の栽培	1			1
商業		16			1
	駅周辺の商業振興	5			1
	商業の振興	3			1
	商店街の活性化	4			1
	大型店舗の誘致	4			1
企業		15			1
	企業誘致	13			1
	先端企業の誘致	2			1
雇用		10			1
	雇用の創出	6			1
	若者が働く場の創出	4			1
活性化		3			1
	産業間の連携	2			1
	チャレンジできる仕組みの構築	1			1
	行政の指導力発揮	1			1



■ 年齢層別 子どもを持つことについての考え方（問26×問2）

- ・若年層、前期中堅層とも「子どもがいると生活が楽しく豊かになる」が最も多くなっている。また、若年層では前期中堅層に比べて「好きな人の子どもを持ちたいから子どもを持つ」の数値が15.8ポイント高くなっている。

図 年齢層別 子どもを持つことについての考え方

		問26 子どもを持つことについての考え方																						
合計		子どもを持つことは自然なことである	自分の子孫を残すことができる	から認められる	子どもを持つことで周囲	子どもがいると生活が楽しく豊かになる	子どもは老後の支えになる	子どもは将来の社会の担	い手になる	子どもは夫婦関係を安定	させる	たいから子どもを持つ	好きな人の子どもを持つ	むから子どもを持つ	配偶者や親など周囲が望	とができる	自分の家の家名を残すこ	される	自分の自由な時間が制約	経済的な負担が増える	増える	身体的・精神的な負担が	その他	無回答
全体		209	42.6	11.0	1.9	52.2	6.7	29.2	11.0	19.1	1.4	4.8	11.5	23.9	10.5	4.3	9.6							
問2 年齢（統 合）	若年層	114	39.5	11.4	0.9	52.6	7.0	28.1	11.4	26.3	0.0	3.5	10.5	23.7	10.5	5.3	10.5							
	前期中堅層	95	46.3	10.5	3.2	51.6	6.3	30.5	10.5	10.5	3.2	6.3	12.6	24.2	10.5	3.2	8.4							

■ 三浦市の住みよさ別 子どもを持つことについての考え方（問26×問16）

- ・「住みよい」「どちらともいえない」では「子どもがいると生活が楽しく豊かになる」が最も多いが、「住みにくい」では「経済的な負担が増える」が最も多いほか、「自分の自由な時間が制約される」の数値も全体値に比べて10ポイント以上高くなっている。

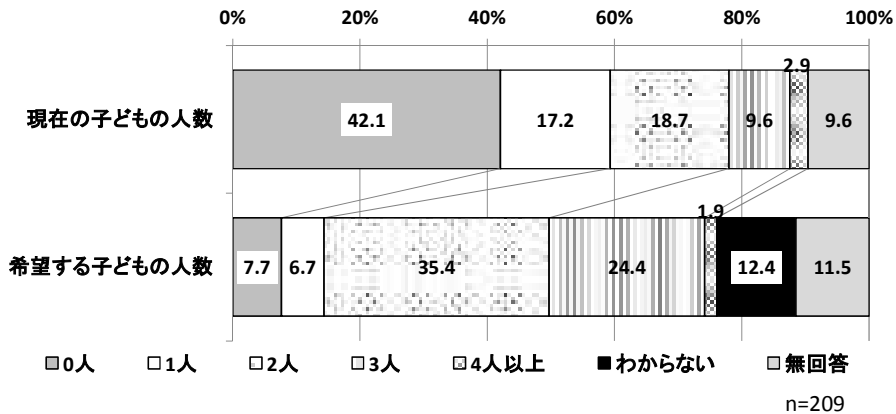
図 三浦市の住みよさ別 子どもを持つことについての考え方

		問26 子どもを持つことについての考え方																						
合計		子どもを持つことは自然なことである	自分の子孫を残すことができる	から認められる	子どもを持つことで周囲	子どもがいると生活が楽しく豊かになる	子どもは老後の支えになる	子どもは将来の社会の担	い手になる	子どもは夫婦関係を安定	させる	たいから子どもを持つ	好きな人の子どもを持つ	むから子どもを持つ	配偶者や親など周囲が望	とができる	自分の家の家名を残すこ	される	自分の自由な時間が制約	経済的な負担が増える	増える	身体的・精神的な負担が	その他	無回答
全体		209	42.6	11.0	1.9	52.2	6.7	29.2	11.0	19.1	1.4	4.8	11.5	23.9	10.5	4.3	9.6							
問16 三浦市の 住みよさ	住みよい	93	41.9	12.9	0.0	59.1	7.5	34.4	8.6	19.4	1.1	7.5	7.5	17.2	8.6	4.3	10.8							
	住みにくい	28	42.9	3.6	10.7	42.9	7.1	25.0	7.1	14.3	0.0	7.1	28.6	50.0	14.3	3.6	3.6							
	どちらともいえない	86	44.2	10.5	1.2	47.7	5.8	25.6	15.1	18.6	2.3	1.2	10.5	22.1	10.5	4.7	10.5							

**問26-1 現在の子どもの人数をお知らせください。(〇は1つ)**

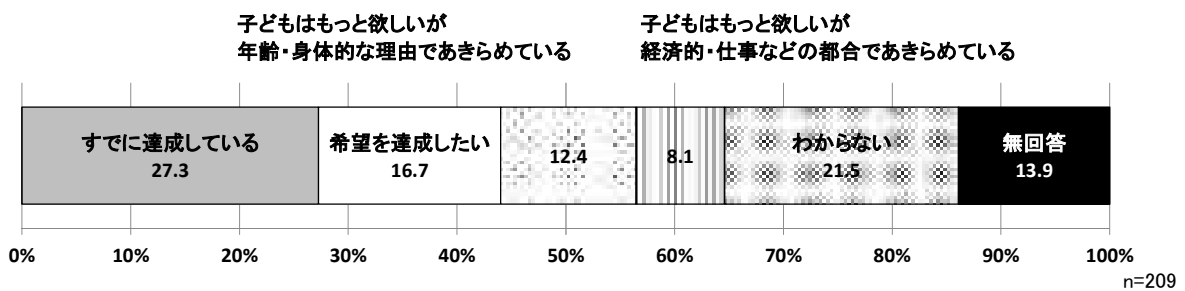
**問26-2 希望する子どもの人数は何人ですか。(〇は1つ)**

- ・現在の子どもの人数は「0人」が最も多く 42.1%で全体の4割強を占めている。続いて、「2人」(18.7%)、「1人」(17.2%)がほぼ並ぶ。以下「3人」(9.6%)、「4人以上」(2.9%)となっている。
- ・希望する子どもの人数は、「2人」が最も多く 35.4%で、全体の3分の1強が希望している。次いで「3人」が24.4%で、全体の4分の1弱である。また、「わからない」が12.4%となっている。以下「0人」(7.7%)、「1人」(6.7%)、「4人以上」(1.9%)と続く。「2人」と「3人」では、希望の数値が現在の数値を大きく上回っている。



**問 26-3 希望する子どもの人数についての見通しをおたずねします。(〇は1つ)**

- ・「すでに達成している」が最も多く 27.3%で、全体の4分の1強となっている。次いで「わからない」が21.5%である。以下「希望を達成したい」(16.7%)、「子どもはもっと欲しいが年齢・身体的な理由であきらめている」(12.4%)、「子どもはもっと欲しいが経済的・仕事などの都合であきらめている」(8.1%)となっており、何らかの理由で希望の子ども的人数をあきらめている人が約2割存在している。

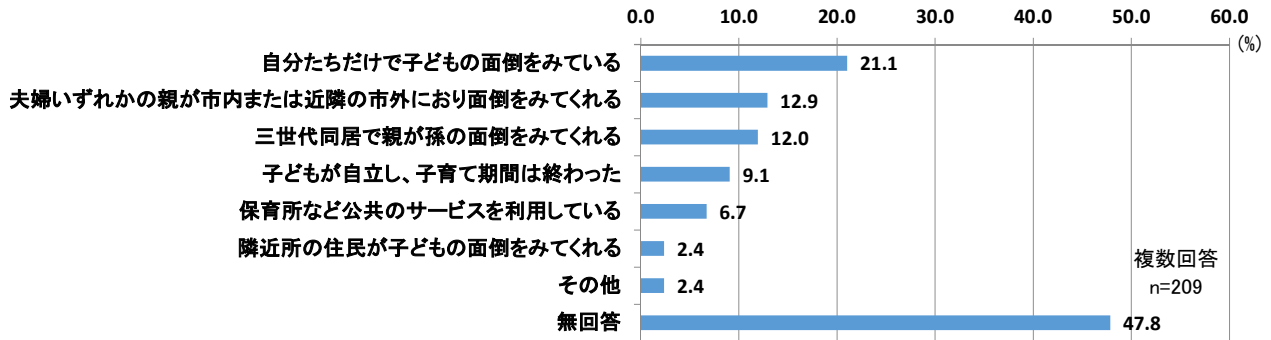




問27 子どものいる方におたずねします。現在のあなたの子育て環境についてお知らせください。

(〇はいくつでも)

- ・「自分たちだけで子どもの面倒をみている」が21.1%で最も多く、約2割を占めている。次いで「夫婦いずれかの親が市内または近隣の市外におり面倒をみしてくれる」が12.9%、「三世代同居で親が孫の面倒をみしてくれる」が12.0%でほぼ並ぶ。以下「子どもが自立し、子育て期間は終わった」(9.1%)、「保育所など公共のサービスを利用している」(6.7%)、「隣近所の住民が子どもの面倒をみしてくれる」(2.4%)、「その他」(2.4%)となっている。



■ 年齢層別 現在の子育て環境 (問27×問2)

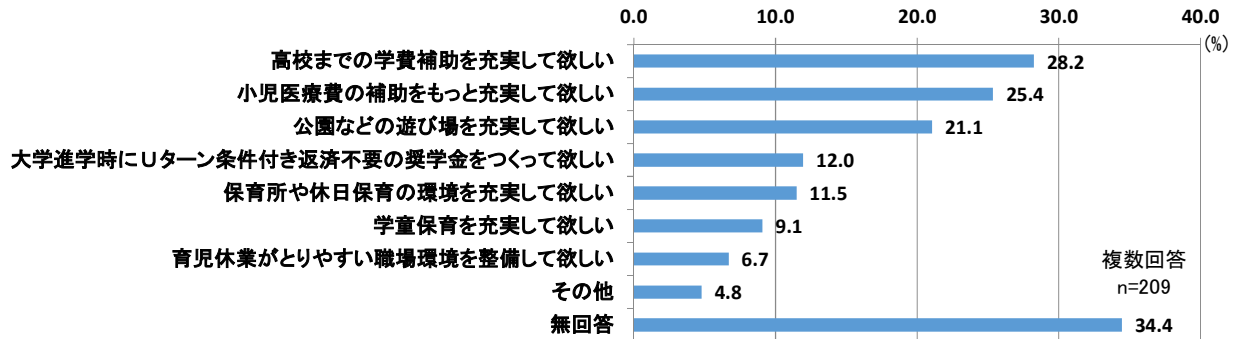
- ・若年層、前期中堅層とも「自分たちだけで子どもの面倒をみている」が最も多くなっている。

図 年齢層別 現在の子育て環境

		合計	問27 現在の子育て環境							
			三世代同居で親が孫の面倒をみってくれる	お内夫の隣りの自分と保育所など公共のサービスを利用している	夫婦いずれかの親が市内または近隣の市外におり面倒をみしてくれる	の面倒をみってくれる住民が子どもの面倒をみってくれる	の面倒をみただけで子ども	が自立し、子育て期間は終わった	その他	無回答
全体		209	12.0	12.9	2.4	21.1	6.7	9.1	2.4	47.8
問2 年齢 (統 合)	若年層	114	8.8	9.6	2.6	14.0	8.8	2.6	1.8	64.0
	前期中堅層	95	15.8	16.8	2.1	29.5	4.2	16.8	3.2	28.4

問27-1 子育てについて三浦市に期待することをお答えください。(〇は2つまで)

- ・「高校までの学費補助を充実して欲しい」が最も多く 28.2%で3割近くを占めており、これに、「小児医療費の補助をもっと充実して欲しい」が 25.4%で続く。次いで「公園などの遊び場を充実して欲しい」が 21.1%である。以下「大学進学時にUターン条件付き返済不要の奨学金をつくって欲しい」(12.0%)、「保育所や休日保育の環境を充実して欲しい」(11.5%)などとなっている。



■ 年齢層別 子育てについて三浦市に期待すること (問 27-1 × 問 2)

- ・若年層、前期中堅層とも「高校までの学費補助を充実して欲しい」が最も多い。

図 年齢層別 子育てについて三浦市に期待すること

		合計	問27-1 子育てについて三浦市に期待すること									
			小児医療費の補助を充実して欲しい	保育所や休日保育の環境を充実して欲しい	学童保育を充実して欲しい	公園などの遊び場を充実して欲しい	職場環境を整備して欲しい	育児休業がとりやすい	高校までの学費補助を充実して欲しい	大学進学時にUターン条件付き返済不要の奨学金をつくって欲しい	その他	無回答
	全体	209	25.4	11.5	9.1	21.1	6.7	28.2	12.0	4.8	34.4	
問 2 年齢 (統 合)	若年層	114	22.8	14.0	8.8	24.6	7.0	26.3	10.5	1.8	38.6	
	前期中堅層	95	28.4	8.4	9.5	16.8	6.3	30.5	13.7	8.4	29.5	

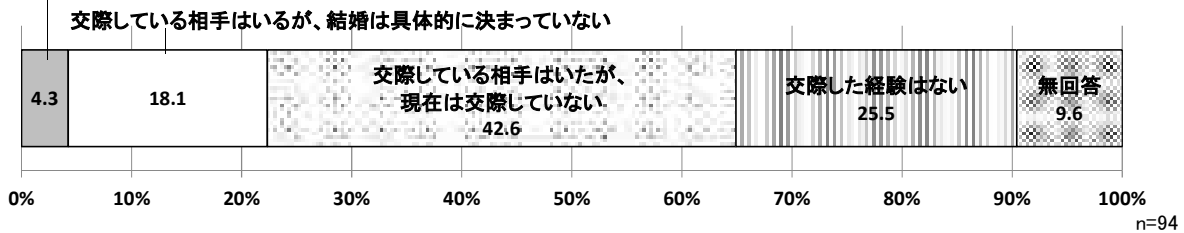
## 6. 「結婚」について

問28 独身(離婚された方を含む)の方におたずねします。あなたには交際している人(恋人)はいますか。

(〇は1つ)

- ・「交際している相手はいたが、現在は交際していない」が42.6%で、4割を超えている。次いで「交際した経験はない」が25.5%で、全体の約4分の1で、これらを合わせると全体の7割近くが現在交際相手はいないとしている。以下「交際している相手はいるが、結婚は具体的に決まっていない」(18.1%)、「結婚が決まっている、または婚約中」(4.3%)となっている。

結婚が決まっている、または婚約中



### ■ 男女別 交際している人(恋人)の有無 (問28×問1)

- ・男女とも「交際している相手はいたが、現在は交際していない」が最も多い。また男性は「交際した経験はない」の数値が全体値より10ポイント以上高く、女性より25.4ポイント高くなっている。

図 男女別 交際している人(恋人)の有無

	合計	問28 (離婚された方を含む独身の方) 交際している人(恋人)の有無				
		ま た 結 婚 が 婚 約 中	決 ま つ て い る	交 際 し て い る が 現 在 は 交 際 し て い な い	交 際 し た 経 験 は な い	無 回 答
全体	94	4.3	18.1	42.6	25.5	9.6
問1 性別						
男性	49	0.0	10.2	46.9	36.7	6.1
女性	44	9.1	27.3	38.6	11.4	13.6

### ■ 年齢層別 交際している人(恋人)の有無 (問28×問2)

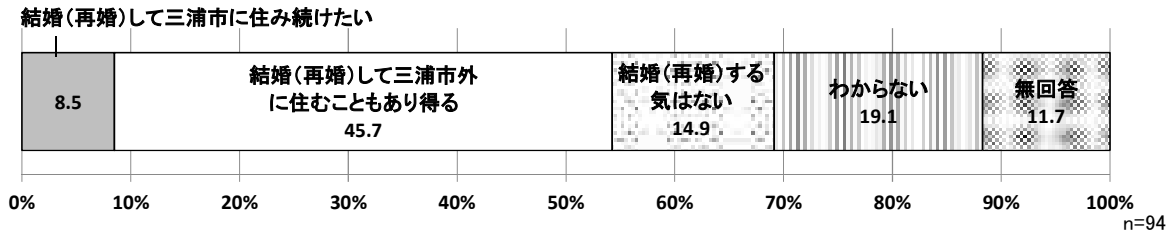
- ・若年層、前期中堅層とも「交際している相手はいたが、現在は交際していない」が最も多く、差異は見られない。

図 年齢層別 交際している人(恋人)の有無

	合計	問28 (離婚された方を含む独身の方) 交際している人(恋人)の有無				
		ま た 結 婚 が 婚 約 中	決 ま つ て い る	交 際 し て い る が 現 在 は 交 際 し て い な い	交 際 し た 経 験 は な い	無 回 答
全体	94	4.3	18.1	42.6	25.5	9.6
問2 年齢(統 合)						
若年層	72	4.2	18.1	41.7	25.0	11.1
前期中堅層	22	4.5	18.2	45.5	27.3	4.5

**問29 独身(離婚された方を含む)の方におたずねします。あなたの結婚についての考え方はどれに該当しますか。(〇は1つ)**

- ・「結婚(再婚)して三浦市外に住むこともあり得る」が45.7%で、半数近くに達している。次いで「わからない」が19.1%で2割弱である。以下「結婚(再婚)する気はない」が14.9%、「結婚(再婚)して三浦市に住み続けたい」が8.5%で、結婚後も三浦市に住み続けたい意思がはっきりしている人は1割弱である。



**■ 年齢層別 結婚についての考え方 (問29×問2)**

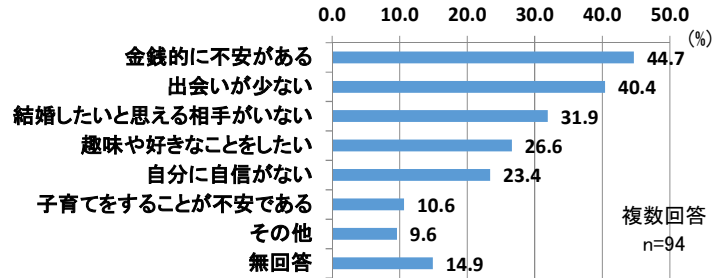
- ・若年層では「結婚(再婚)して三浦市外に住むこともあり得る」、前期中堅層では「結婚(再婚)する気はない」が最も多くなっている。

**図 年齢層別 結婚についての考え方**

		合計	問29 (離婚された方を含む独身の方) 結婚についての考え方				
			市結 婚に 住 み 続 け た し て 三 浦	得市結 る外婚 に(再 婚)し て三 浦	な結 婚(再 婚)す る気 は	わ か ら な い	無 回 答
	全体	94	8.5	45.7	14.9	19.1	11.7
問2 年齢(統 合)	若年層	72	8.3	51.4	9.7	16.7	13.9
	前期中堅層	22	9.1	27.3	31.8	27.3	4.5

**問29-1 結婚するにあたって何か問題や不安に思うことがありますか。(〇はいくつでも)**

- ・「金銭的に不安がある」が最も多く 44.7%、次いで「出会いが少ない」が 40.4%で、これらは4割以上の方が挙げている。以下「結婚したいと思える相手がない」(31.9%)、「趣味や好きなことをしたい」(26.6%)、「自分に自信がない」(23.4%)、「子育てをすることが不安である」(10.6%)、「その他」(9.6%)と続く。



**■ 年齢層別 結婚するにあたって問題や不安に思うこと (問29-1×問2)**

- ・若年層、前期中堅層とも「金銭的に不安がある」が最も多い。また、前期中堅層では若年層に比べて「結婚したいと思える相手がない」が 11.7 ポイント高く、一方で若年層では「趣味や好きなことをしたい」が前期中堅層より 11 ポイント高くなっている。

**図 年齢層別 結婚するにあたって問題や不安に思うこと**

		合計	問29-1 結婚するにあたって問題や不安に思うこと							
			結婚したいと思える相手がない	出会いが少ない	金銭的に不安がある	子育てをすることが不安である	趣味や好きなことをしたい	自分に自信がない	その他	無回答
	全体	94	31.9	40.4	44.7	10.6	26.6	23.4	9.6	14.9
問2 年齢 (統 合)	若年層	72	29.2	40.3	43.1	9.7	29.2	22.2	9.7	15.3
	前期中堅層	22	40.9	40.9	50.0	13.6	18.2	27.3	9.1	13.6